

第3期

三原村地域福祉計画

三原村地域福祉活動計画



令和4年3月

三原村

三原村社会福祉協議会

目次

はじめに

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の背景	2
2. 計画の位置づけ	3
3. 計画策定の期間	4
4. 策定の経過	4
第2章 現状と課題	5
1. 三原村の現状と課題	6
2. 各地区の現状と課題	13
第3章 計画の基本理念と目標	29
1. 計画の基本理念と重点目標	30
2. 計画の体制	32
第4章 具体的な取り組み	35
重点目標1 支え合いのしくみづくり	36
重点目標2 住みたい・住みやすい環境づくり	41
重点目標3 安心・安全な地域づくり	44
第5章 計画の推進体制	49
1. それぞれの役割	50
2. 計画の進捗管理と検証体制	51
資料編	53

はじめに

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の進行により、大きな改革の時代を迎えています。本村では、地域での様々な福祉課題が生じている背景から、福祉サービスの充実はもちろんのこと、地域での支え合い、助け合いなど「地域」を中心とする新たな取り組みを実施するため、平成24年3月に『あったかい きずなをつなぐ 三原村』を基本理念とした「三原村地域福祉計画・三原村地域活動計画」を策定しました。

計画の策定から10年間、住民・事業所・社会福祉協議会・行政がそれぞれの役割を担い、互いに連携しながら、障害のある人やない人、子どもから高齢者まで、地域でお互いを支え合いながら自立し、社会参加ができるよう、計画を推進してまいりました。しかし、少子高齢化がさらに進んでいることに加え、地域でのつながりの希薄化や担い手の不足などがあり、また、全国的にも社会問題となっている、地域での孤立や貧困なども多くなってきており、本村を取り巻く環境は依然として、厳しいものとなっております。

近年は、東日本大震災や熊本地震など、大規模な自然災害で尊い命が奪われ、また、台風など頻発する災害においても、家屋や農地だけでなく、地域住民の方にも多くの被害が出ています。しかし、そのような状況下においても、お互いが励まし、助け合うことが未来を切り開き、復興へとつながっており、改めて住民同士の支え合いの必要性が認識されました。

このような中で、令和4年度が初年度となる第3期三原村地域福祉計画では、第2期計画を引き継ぎ、支え合いのしくみづくり、住みやすい環境づくり、安心できる地域づくりに重点を置き、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための村づくりを進めてまいります。

結びにあたり、本計画の策定にご尽力いただきました三原村地域福祉計画策定委員会及び同策定委員会事務局会の委員の皆様をはじめ、貴重な意見や提言をいただきました村民の皆様にご心よりお礼申し上げます。

令和4年3月

三原村長 田野 正利

はじめに

平成29年に基本理念や基本目標を同じくする、第2期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画が策定され、社会福祉協議会の活動においても、地域住民同士のつながり・支え合いを確立するためにお互いを知ることから活動を開始し各地区のことは地域住民同士で支え合うことを目指し、当協議会としての役割に基づき働きかけて参りました。本村の現状は少子高齢化の加速により、高齢者人口増加に反し人口は減少の一途の中、近年の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、必然的に高齢者の孤立・地域のつながりの希薄などが顕著となり地域の生活課題が浮き彫りになりました。

こうした中、この度、第2期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画の進捗状況と評価を行った経過や当村の現状などにより、三原村と一体的に「住民主体」を重視し、地域社会を実現するための、第3期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画を策定しました。この計画の取り組みにおける最重点は地域社会の充実です。

誰もが安心して暮らせる“あったかい村”を目標に取り組んでいくために、社会福祉協議会では、行政・各種関係機関・諸団体と連携を図りながら、地域住民への「住民同士お互い助け合う」環境を構築するため働きかけ、地域福祉を推進するように取り組んで参ります。

新たな第3期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画においては、基本構想はそのまま引き継ぎ、実施目標や、新たなニーズに対応するための実施目標を設定しながら取り組む予定としています。

終わりに、第3期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画策定にあたり、ご尽力を賜りました策定委員会の各委員並びに各種関係機関の皆様方に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

令和4年3月

社会福祉法人

三原村社会福祉協議会

会長 宮崎 俊雄

第 1 章

計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

平成12年に施行された社会福祉法において、社会福祉の基本理念のひとつとして、「地域福祉の推進」が掲げられ、それまでの高齢者、障害者、児童といった特定の人に対する「社会福祉」から、地域が抱える様々な問題を地域の住民がお互いに支え合い、助け合うことで解決していくことを目指す「地域福祉」を進めることが広く呼びかけられました。

高知県においても、平成23年3月に「高知型福祉の実現」を目指し、第1期高知県地域福祉支援計画を策定しており、平成28年3月には日本一の健康長寿県構想と合せ、第1期計画から引き続き第2期高知県地域福祉支援計画を策定しています。

本村においては、平成24年3月に『あったかいきずなをつなぐ三原村』を基本理念とした三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画を策定しました。

しかし、本村を取り巻く状況は一貫して少子高齢化の傾向にあり、地域のつながり・世代間の交流の希薄化や、伝統を引き継ぐ人材不足等により、地域での活動も少なくなっています。さらに、生活困窮者、独居高齢者、要介護者など社会的弱者も増加しており、地域でのつながりや、お互いが支え合う仕組みづくりが求められています。

このような状況を踏まえ、令和4年度を初年度として前計画を引き継ぐ、「第3期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画」を策定しました。

社会福祉法

第107条(市町村地域福祉計画)

市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画(以下「市町村地域福祉計画」という。)を策定するよう努めるものとする。

1. 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
2. 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
3. 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
4. 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
5. 地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項

第109条(市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会)

市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の2以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であって、その区域における社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、(中略)市及び町村にあってはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を経営する者の過半数が参加するものとする。

1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
4. 前3号に掲げる事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

2. 計画策定の位置づけ

地域福祉は、地域の一部の人たちが限られた人に対して行うものではなく、住民一人ひとりがそれぞれの生き方を尊重しながら、誰もが対等な関係で、住みなれた地域で安心、安全、快適に暮らし続けることを目標としています。

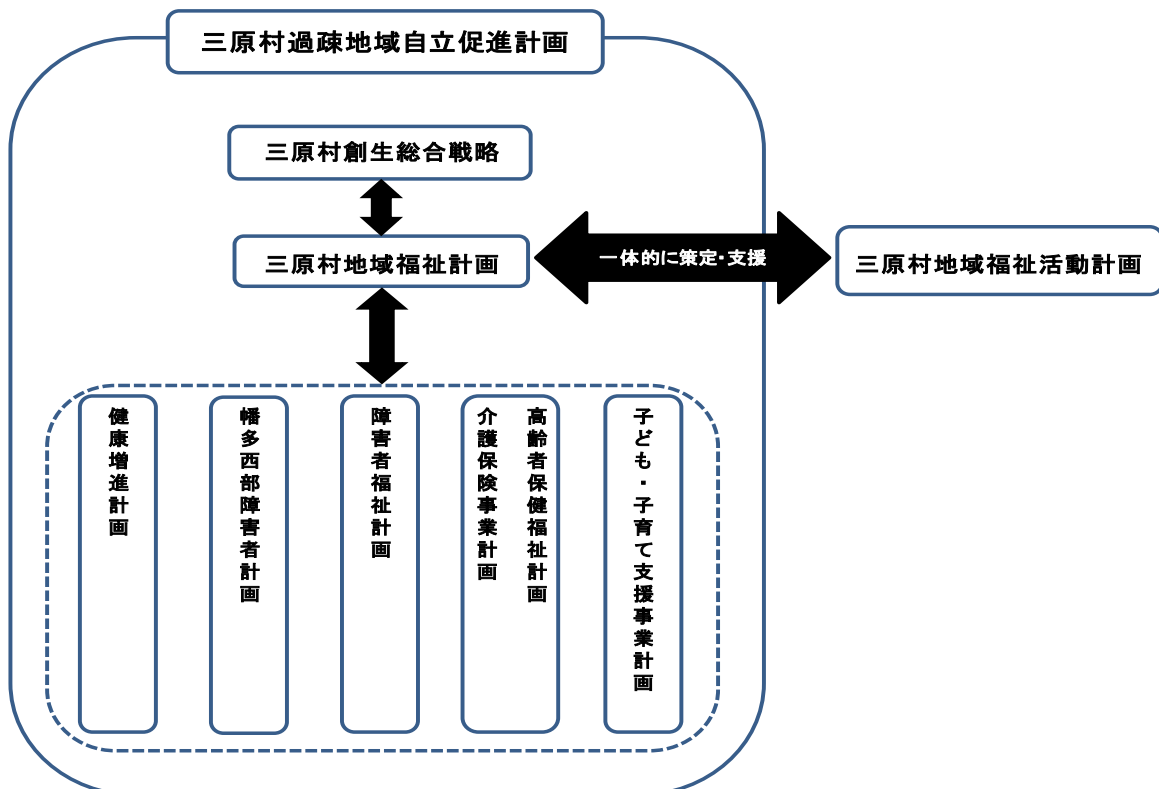
本計画は、社会福祉法に基づく「三原村地域福祉計画」と「三原村地域福祉活動計画」を一体的に策定しています。

地域福祉計画は、高齢者、障害者など支援を必要としている住民を地域全体で支え、誰もが住み慣れた地域で、安心してその人らしい自立した生活を送れるような仕組みを、行政と地域住民が共同でつくるものです。

また、地域福祉活動計画は、この地域福祉計画の基本的な考え方や理念などを基に、よりきめ細やかな地域福祉の推進が図れるよう、住民との協働による支援の仕組みづくりなど、具体的な取り組みを示したもので、社会福祉協議会が策定する計画です。

本村では、高齢者、障害者、児童といった各分野の福祉施策は、既に策定されている「三原村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「三原村障害者福祉計画」といった個別計画を横断的につなげ、地域福祉の理念を定め、具体的な取り組みの方針を表します。

なお、本計画には、「成年後見制度利用促進計画」と「再犯防止推進計画」を包含することとします。



3. 計画策定の期間

計画の期間は、令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 年間としますが、社会情勢の変化や他の関連計画の改定等により、本計画の見直しの必要性が生じた場合には、適宜見直すこととします。

4. 策定の経過

計画の策定にあたり、住民のニーズを把握し、それらを計画に反映することが必要であるためアンケート調査等を実施し、行政の地域福祉担当、社会福祉協議会、各地域の代表者などによって組織された「三原村地域福祉計画策定委員会」の協議によって、住民主体を視点として策定しています。

第 2 章

現状と課題

1. 三原村の現状

(1) 人口の推移

本村の人口は、令和2年の国勢調査によると、1,437人となっており、5年前の平成27年と比べると137人の減少となっています。年齢構成で見ると、0～14歳までの年少人口は104人で41人減少、15～64歳までの生産年齢人口は657人で59人減少と、この5年間で年少人口は特に大幅な減少となっています。

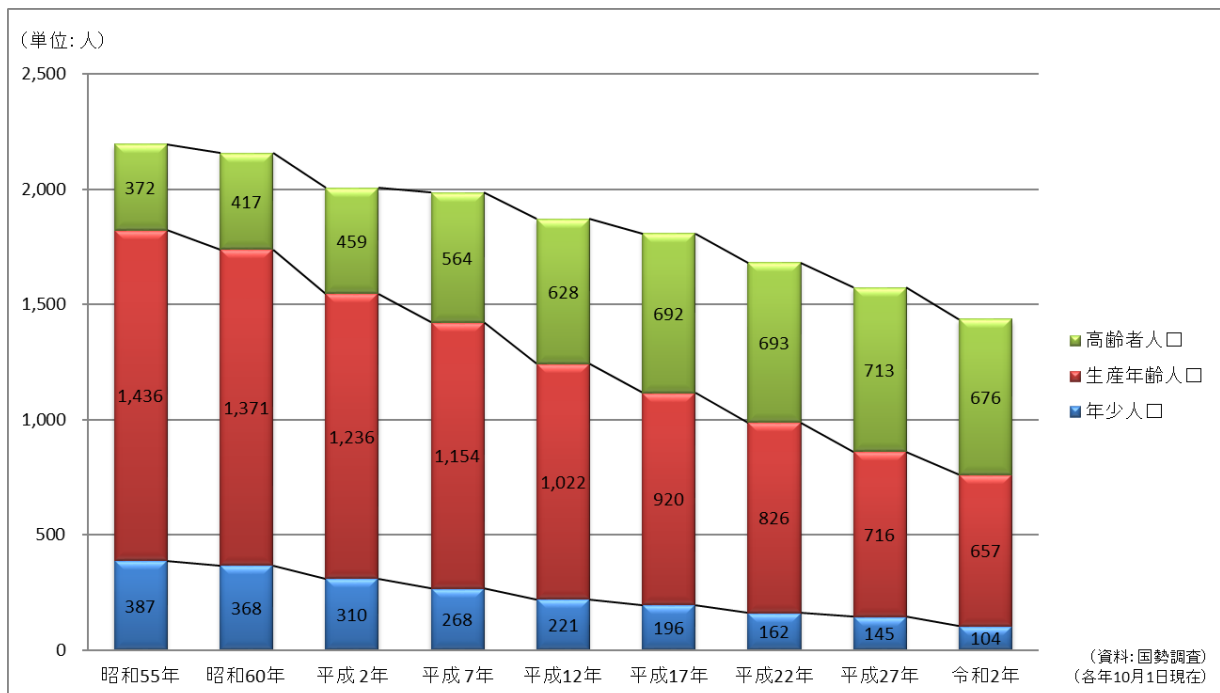
(単位：人)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	2,195	2,156	2,005	1,986	1,871	1,808	1,681	1,574	1,437
男	1,068	1,045	953	963	904	855	801	749	690
女	1,127	1,111	1,052	1,023	967	953	880	825	747
年少人口 (0歳～14歳)	387	368	310	268	221	196	162	145	104
割合	17.6	17.1	15.5	13.5	11.8	10.8	9.6	9.2	7.2
生産年齢人口 (15歳～64歳)	1,436	1,371	1,236	1,154	1,022	920	826	716	657
割合	65.4	63.6	61.6	58.1	54.6	50.9	49.2	45.5	45.8
高齢者人口 (65歳以上)	372	417	459	564	628	692	693	713	676
割合	16.9	19.3	22.9	28.4	33.6	38.3	41.2	45.3	47.0

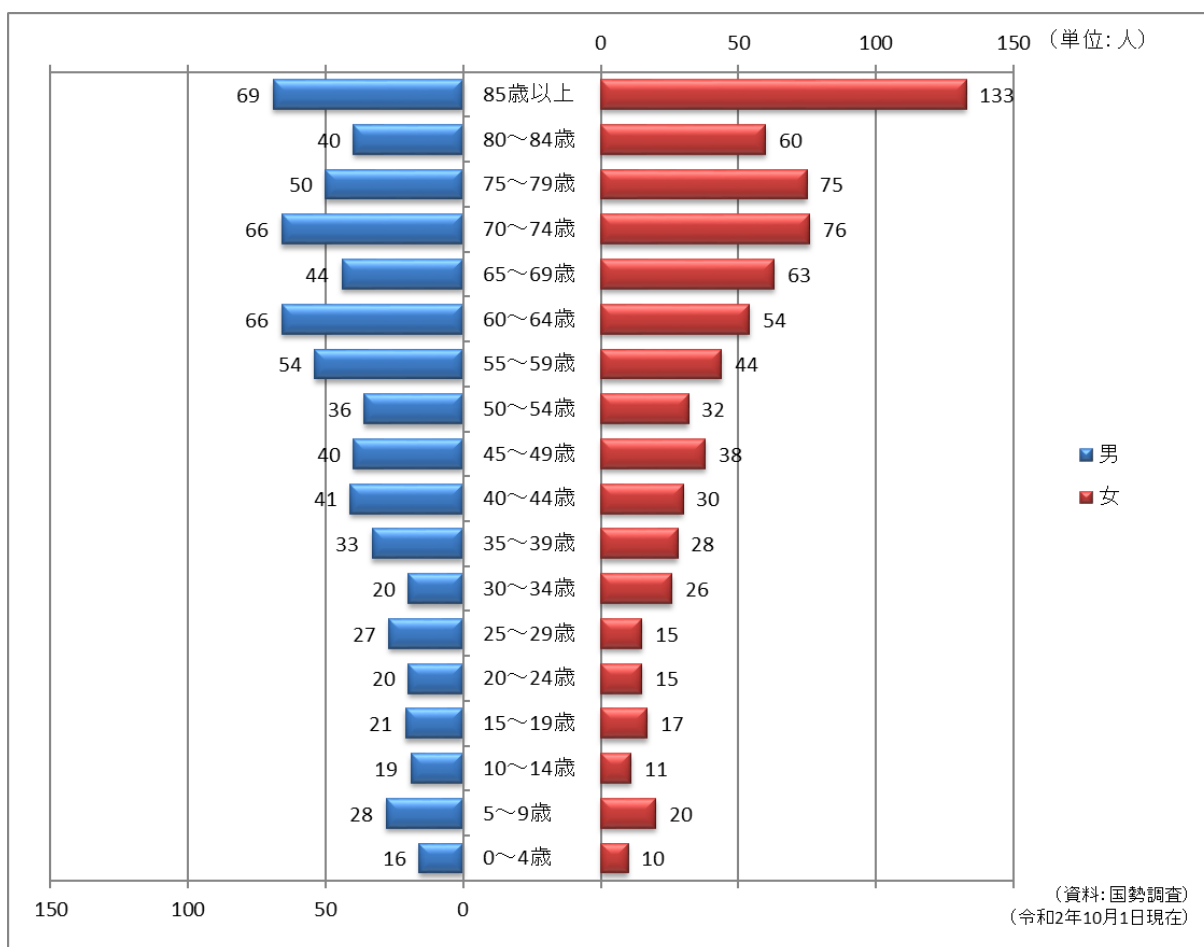
(資料：国勢調査)

(各年10月1日現在)

■人口3区分の推移



■人口ピラミッド



■世帯の推移

世帯数は、平成27年の703世帯から令和2年には、658世帯と45世帯の減少となっています。1世帯当たりの人員数も減少傾向にあり、令和2年には2.18人となっています。

(単位: 世帯)

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
世帯数	757	751	749	779	749	735	745	703	658
1世帯当たり人員数	2.89	2.87	2.67	2.54	2.49	2.45	2.25	2.23	2.18

(資料: 国勢調査)

(各年10月1日現在)

(2) 子育て家庭の状況

■ 出生数の推移

令和2年度の出生数は7人となり、少数のままほぼ横ばいで推移しております。

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人 数	7	5	6	4	5	4	7

(資料：住民基本台帳)

(各年3月末現在)

■ 保育園児数・小学校児童数・中学校生徒数の推移

本村における令和3年5月1日現在の保育園児数は22人、小学校児童数は47人、中学校生徒数は14人で合計83人となり、平成28年度(130人)からの推移をみると各生徒数ともに減少傾向となっており、全体では47人も減少しています。生徒数が少ないため、すでに部分的に複式学級となっています。

保育園園児数（広域入所含む）

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全園児数	44	41	35	29	28	22

小学校児童数の推移

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全児童数	57	46	46	42	42	47

中学校生徒数の推移

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
全生徒数	29	30	27	24	18	14

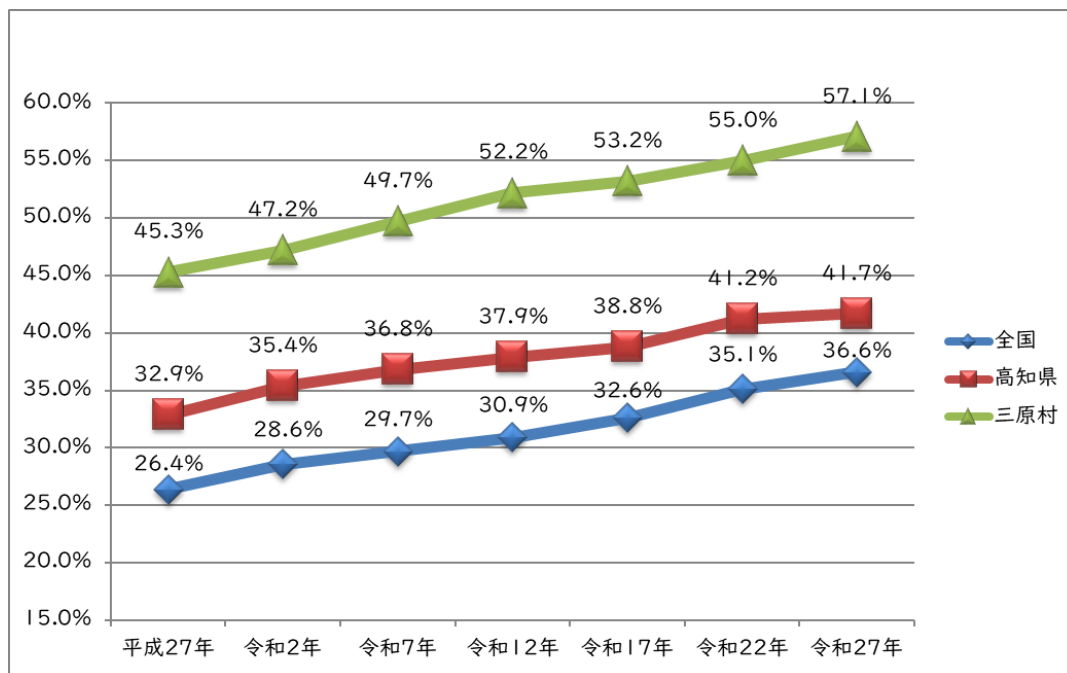
(資料：学校基本調査 他)

(各年5月1日現在)

(3) 高齢者の状況

■ 高齢化率の推移

本村の高齢者の占める割合は、平成 27 年には、45.3%でしたが、令和 2 年には、47.2%となっており、今後も高齢化率は上昇し、15 年後の令和 17 年には 53.2%で人口の約 2 人に 1 人以上は 65 歳以上になると推計されます。



(資料：国立社会保障・人口問題研究所)

■ 要介護度別認定者数

介護保険制度は、法施行後 23 年が経過しました。これまでの要介護度別認定者はほぼ横ばいとなっていますが、全体で見ると法施行 12 年目の平成 24 年に比べ 44 人増加となりました。

平成 27 年度では 20.9%が要介護認定者で高齢者の約 5 人に 1 人が要介護認定者だったのに対し、令和 2 年度には 24.5%が要介護認定者であり、高齢者の約 4 人に 1 人が要介護認定者となっており、年々、認定者数は増加しています。

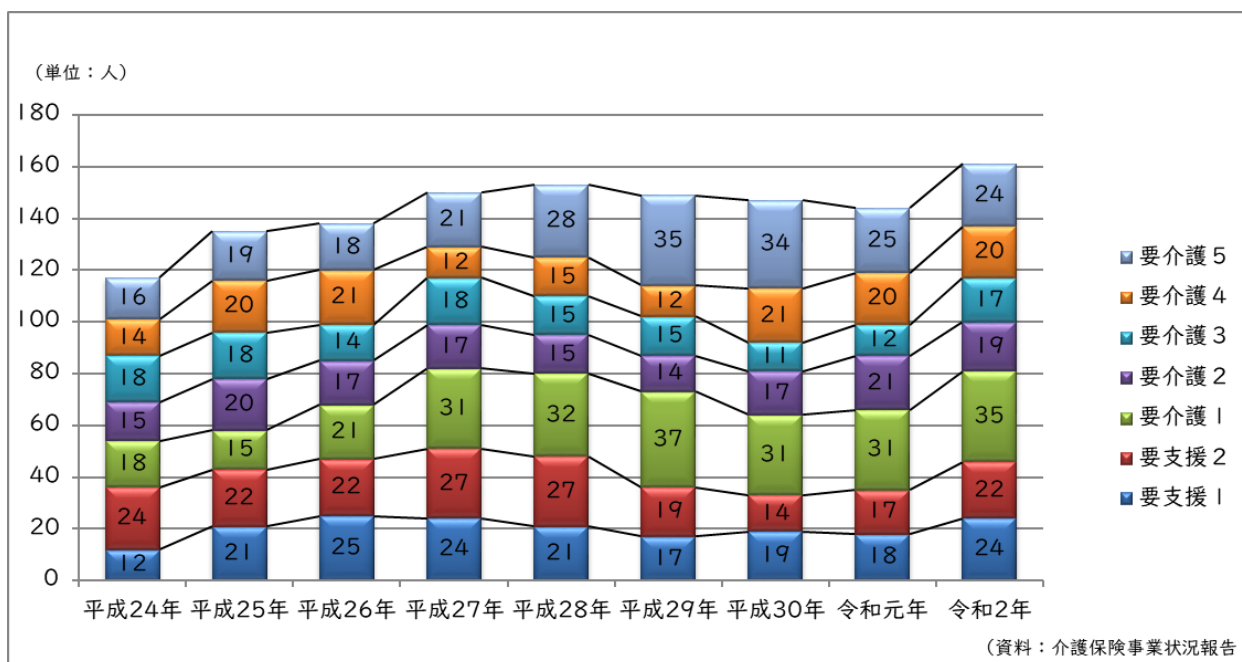
(単位：人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	第1号被保険者 (65歳以上)
平成24年	12	24	18	15	18	14	16	117	112
平成25年	21	22	15	20	18	20	19	135	130
平成26年	25	22	21	17	14	21	18	138	135
平成27年	24	27	31	17	18	12	21	150	148
平成28年	21	27	32	15	15	15	28	153	151
平成29年	17	19	37	14	15	12	35	149	149
平成30年	19	14	31	17	11	21	34	147	147
令和元年	18	17	31	21	12	20	25	144	144
令和2年	24	22	35	19	17	20	24	161	161

(資料：介護保険事業状況報告書)

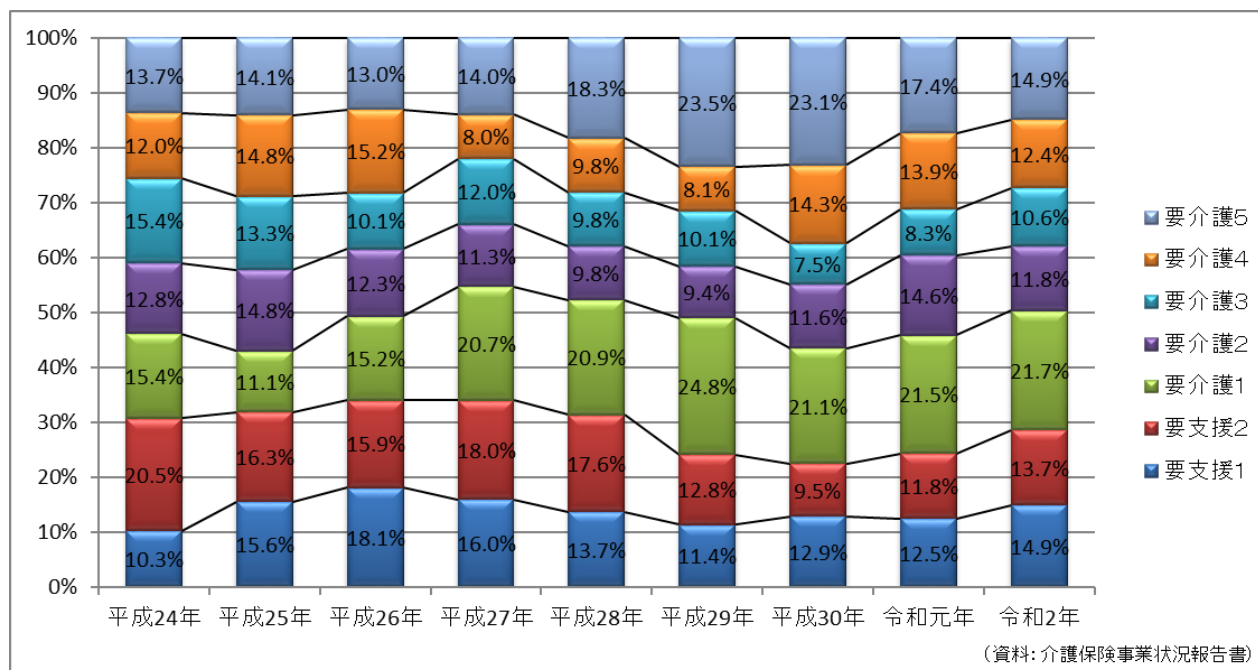
(各年12月末現在)

■ 介護保険認定者数の推移



■ 介護度別割合

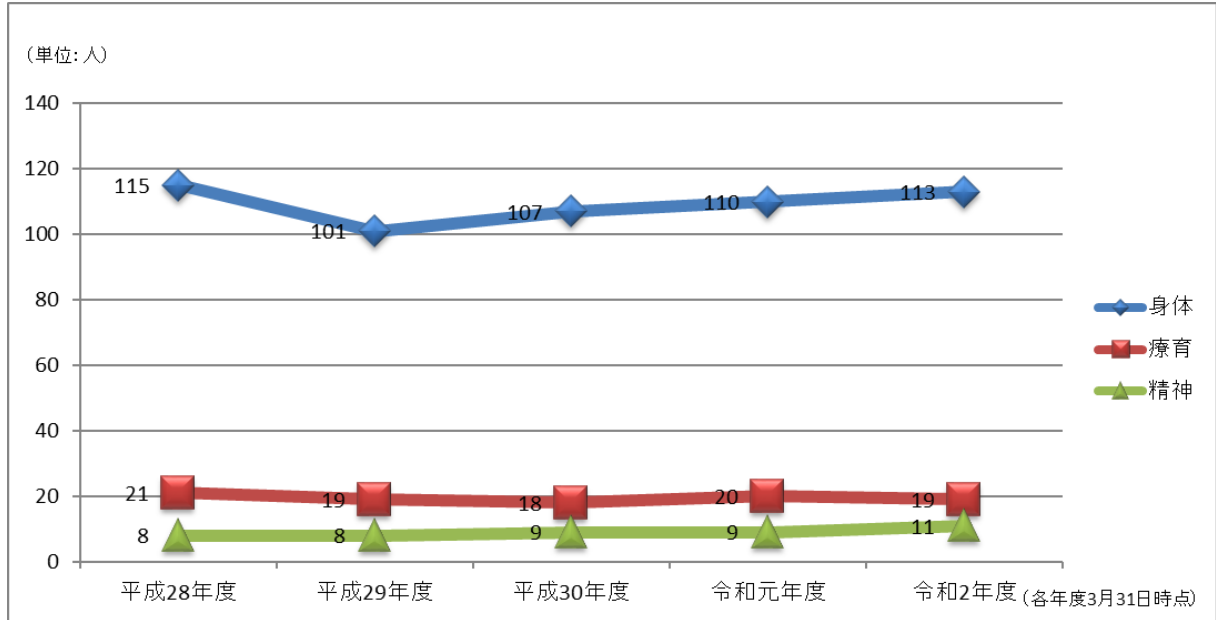
各年度介護度別割合に直すと以下のようになります。認定者数こそ増加していますが、各介護度の割合に大きな変動はなく、ほぼ横ばいであると言えます。



(5) 障害者手帳所持者

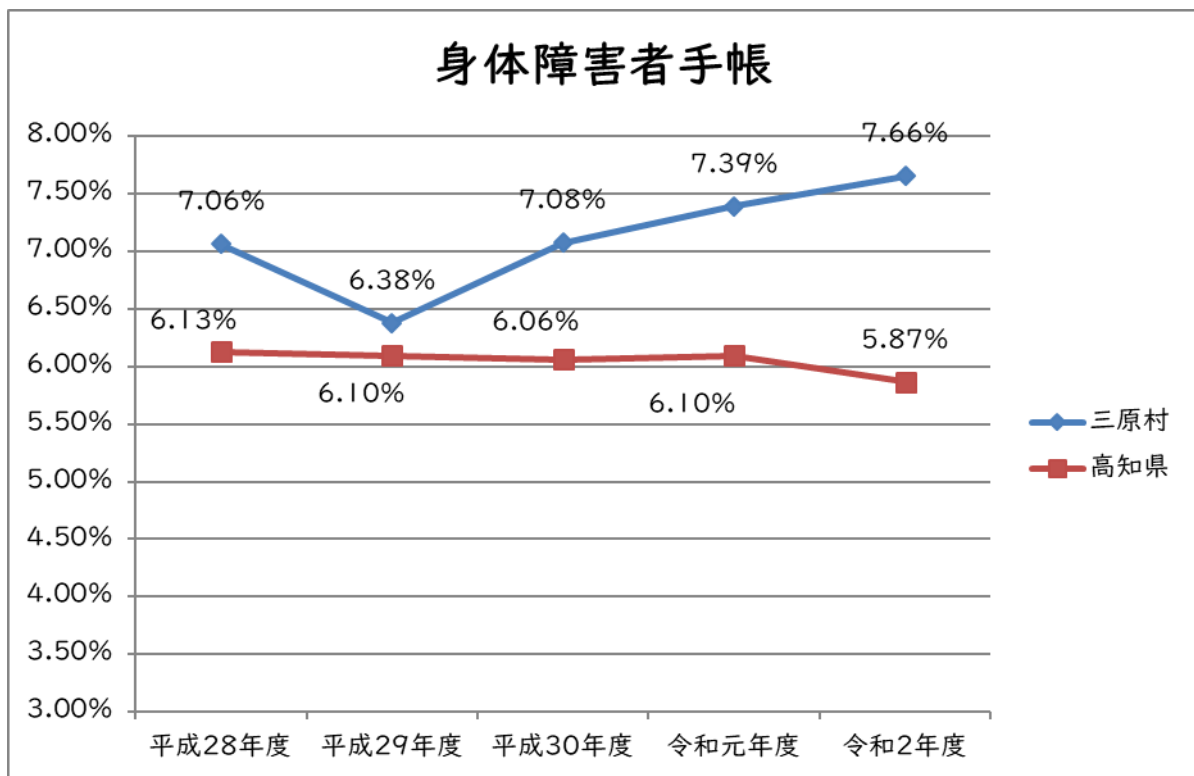
■ 各種手帳の交付状況

身体障害者手帳の保持者数はわずかに減少、療育手帳、精神保健福祉手帳の保持者数は、わずかに増加となりましたが、いずれもほぼ横ばいとなっています。

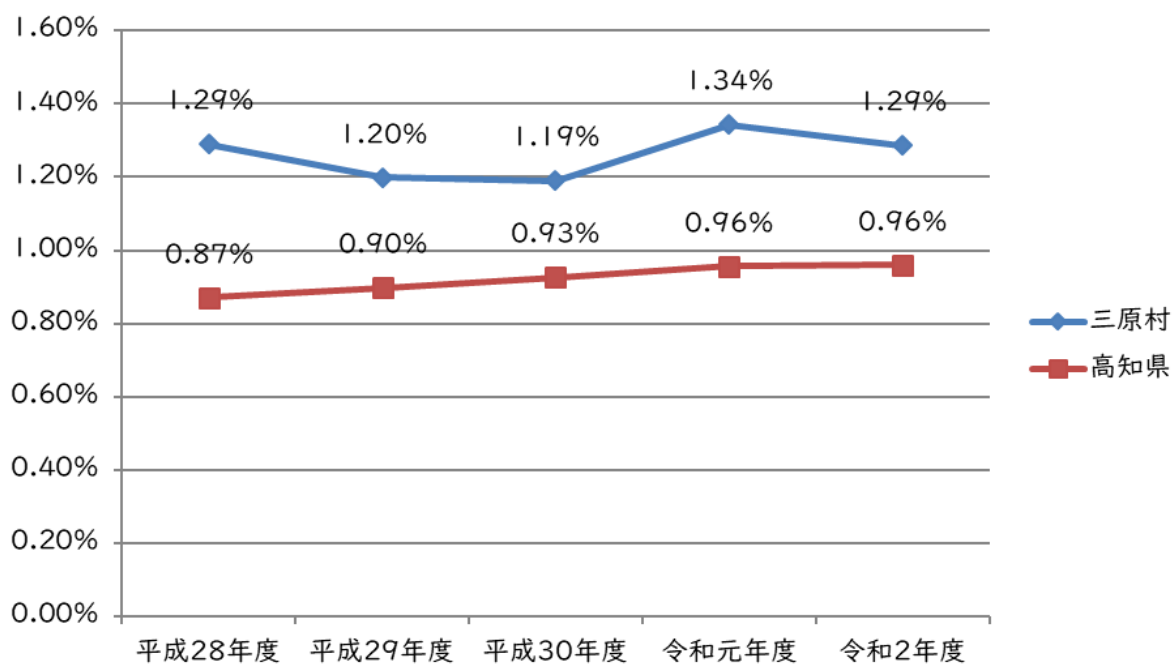


■ 高知県全体との比較(割合)

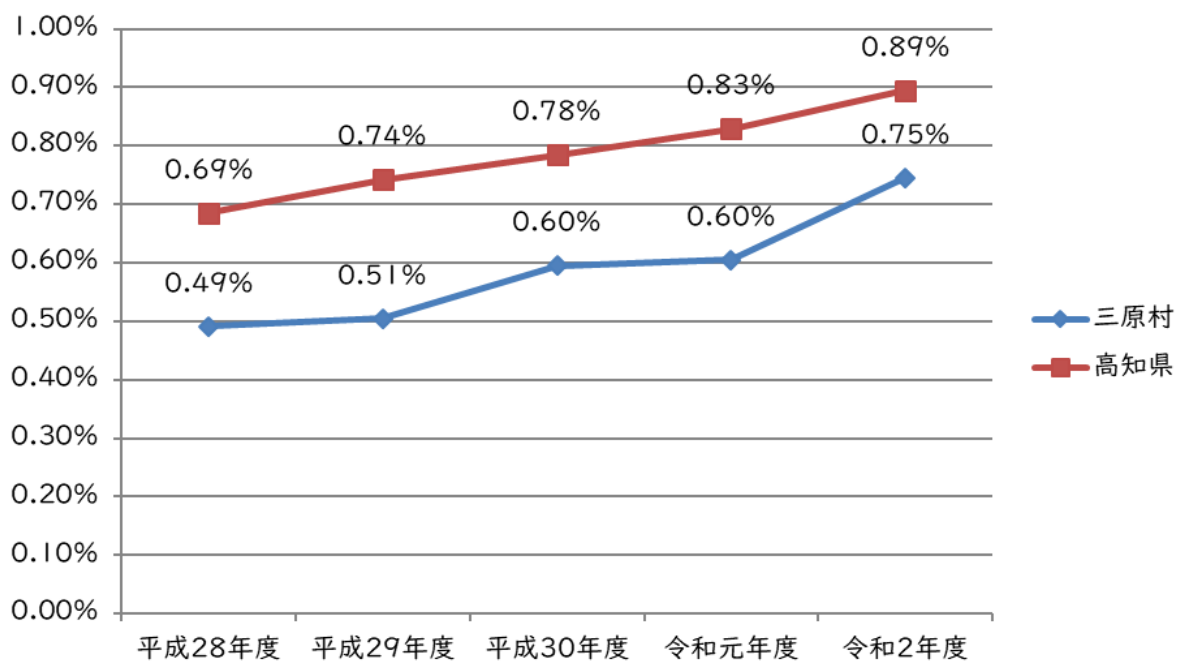
高知県全体と比べても大きな差は見られませんでした。



療育手帳



精神保健福祉手帳



2.各地区の現状と課題

各地区の人口と世帯状況等

(R3.8.31現在)

部落名	世帯数	人口	男		65歳以上	高齢化率	年齢階層				介護認定者数								
			男	女			0～19	20～39	40～59	60～79	80～	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
下切	29	46	21	25	20	43.48	1	5	13	15	12	1	1	4	1	1	0	1	9
亀ノ川	31	49	23	26	32	65.31	3	1	10	21	14	2	2	3	1	1	0	0	9
広野	15	31	14	17	18	58.06	3	4	3	13	8	0	1	1	1	0	1	1	5
柚ノ木	139	291	140	151	120	41.24	33	39	66	86	67	3	3	9	3	3	2	6	29
宮ノ川	148	293	145	148	133	45.39	34	50	57	94	58	2	3	10	6	3	3	2	29
来栖野	51	97	48	49	47	48.45	9	14	22	34	18	0	3	2	1	2	1	2	11
皆尾	50	88	43	45	48	54.55	4	8	19	37	20	2	1	1	0	0	2	2	8
芳井	9	16	7	9	6	37.50	0	2	6	8	0	0	0	0	1	1	0	0	2
下長谷	91	175	94	81	82	46.86	18	20	38	61	38	0	4	4	3	3	1	0	15
上下長谷	43	84	40	44	48	57.14	11	10	15	37	11	0	1	3	1	0	1	1	7
上長谷	53	107	53	54	58	54.21	9	11	23	36	28	1	4	4	2	0	3	3	17
狼内	27	47	22	25	28	59.57	0	6	9	19	13	1	0	0	2	1	1	1	6
成山	13	29	14	15	16	55.17	2	3	5	13	6	0	0	0	0	0	0	0	0
星ヶ丘	42	112	57	55	16	14.29	22	32	36	21	1								
合計	741	1,465	721	744	672	45.87	149	205	322	495	294	12	23	41	22	15	15	19	

■ 下切

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	62		
男	30	48.39%	
女	32	51.61%	
0～19歳	4	6.45%	
20～64歳	30	48.39%	
65歳以上	28	45.16%	
世帯数(戸)	32		
独居高齢者数	9		
要介護・要支援者数	9		



		令和3年8月31日	
人口(人)	46		
男	21	45.65%	
女	25	54.35%	
0～19歳	1	2.17%	
20～64歳	25	54.35%	
65歳以上	20	43.48%	
世帯数(戸)	29		
独居高齢者数	5		
要介護・要支援者数	9		

●地域の現状（令和3年現在）

- ・高齡化が進み、地域での暮らしがやっとの人が増えている。
- ・男性の参加者が少ない。（集い）
- ・自主防災訓練やお祭りなど地区での団結力は強い。
- ・高齡化に伴い、老止めクラブの開催が難しくなっている。
- ・支える人達がいるので安心して生活できる。

●今後の課題

- ・あったか集いについて、月1回のみになる話もあったが、集まりたいとの希望があり月2回で継続している。しかし、支援を続けると自立性が低下してきているように感じる。
- ・行事等やるときの集まりは良いが、高齡者が動けなくなっている。
- ・草引き等ボランティアが欲しい。
- ・一人ひとりの役目を作る。（若者にしかできないこと。お年寄りにしかできないこと。）
- ・地域で助け合って生活していく。

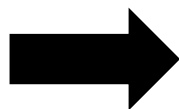
～社会資源～

☆老止クラブ ☆農家食堂・農家民宿 NOKO ☆豆腐製造販売
 ☆子授かり地蔵 ☆下切城跡 ☆秋祭り:太刀踊り ☆銘木ムクロジ
 などがあります。

■ 亀ノ川

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	60		
男	30	50.00%	
女	30	50.00%	
0～19歳	4	6.67%	
20～64歳	17	28.33%	
65歳以上	39	65.00%	
世帯数(戸)	35		
独居高齢者数	18		
要介護・要支援者数	12		



		令和3年8月31日	
人口(人)	49		
男	23	46.94%	
女	26	53.06%	
0～19歳	3	6.12%	
20～64歳	14	28.57%	
65歳以上	32	65.31%	
世帯数(戸)	31		
独居高齢者数	13		
要介護・要支援者数	9		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・高齢化率一番は変わらず、一人住まいが多い。
- ・地区全体が助け合いながら地区の作業などに取り組んでいる



●今後の課題

- ・高齢者一人住まいの災害時等の安全安心生活の確保。
- ・取りまとめ役などの後継者不足



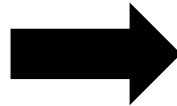
～社会資源～

- ☆亀ノ川城跡
 - ☆中平宗兵衛の墓
 - ☆能蔵寺の地蔵菩薩
 - ☆山の神大ユスの古木
 - ☆ホタル祭
 - ☆秋祭り
- などがあります。

広野

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	36		
男	19	52.78%	
女	17	47.22%	
0～19歳	2	5.56%	
20～64歳	11	30.56%	
65歳以上	23	63.89%	
世帯数(戸)	19		
独居高齢者数	8		
要介護・要支援者数	6		



		令和3年8月31日	
人口(人)	31		
男	14	45.16%	
女	17	54.84%	
0～19歳	3	9.68%	
20～64歳	10	32.26%	
65歳以上	18	58.06%	
世帯数(戸)	15		
独居高齢者数	1		
要介護・要支援者数	5		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・高齢者同士の交流はある。
- ・出役、田役等の地区の作業となると集まりは良い。(男性が中心となって木を刈ったりしてくれる。)

●今後の課題

- ・高齢者が多く、認知症になる方も増えている
- ・田役等の作業に人は集まるが、作業ができる人が少なく地域の草刈り等の管理が大変。



☆こつびょう石

～社会資源～
 ☆広野城跡
 ☆こつびょう石
 ☆圓福寺
 ☆秋祭り
 などがあります。

■ 柚ノ木

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	324		
男	152	46.91%	
女	172	53.09%	
0～19歳	42	12.96%	
20～64歳	151	46.60%	
65歳以上	131	40.43%	
世帯数(戸)	141		
独居高齢者数	31		
要介護・要支援者数	24		



		令和3年8月31日	
人口(人)	291		
男	140	48.11%	
女	151	51.89%	
0～19歳	33	11.34%	
20～64歳	138	47.42%	
65歳以上	120	41.24%	
世帯数(戸)	139		
独居高齢者数	15		
要介護・要支援者数	29		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・伝統芸能である太刀踊りに老若男女問わず参加している。
- ・自宅で夫婦共に生活を送っている家庭が多い。
- ・あったか集いは参加者が増えてきている。

●今後の課題

- ・各集いの継続をしていく。
- ・災害時の避難経路の確認が必要。
- ・地区の少子化により太刀踊りの後継者不足から近隣地区と協力する必要がある。



☆太刀踊り

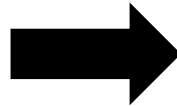
～社会資源～

- | | |
|-------------|----------|
| ☆柚ノ木城跡 | ☆硯工場 |
| ☆敷地一族の墓 | ☆子安地蔵 |
| ☆郵便局 | ☆小学校 |
| ☆金毘羅さん | ☆駐在所 |
| ☆秋祭り：太刀踊り | ☆福祉センター |
| ☆柚ノ木総合グラウンド | ☆豆腐製造販売 |
| ☆サザンカの古木 | |
| | などがあります。 |

宮ノ川

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	323		
男	152	47.06%	
女	171	52.94%	
0～19歳	34	10.53%	
20～64歳	146	45.20%	
65歳以上	143	44.27%	
世帯数(戸)	152		
独居高齢者数	40		
要介護・要支援者数	35		



		令和3年8月31日	
人口(人)	293		
男	145	49.49%	
女	148	50.51%	
0～19歳	34	11.60%	
20～64歳	126	43.00%	
65歳以上	133	45.39%	
世帯数(戸)	148		
独居高齢者数	24		
要介護・要支援者数	29		

●地域の現状（令和3年現在）

- ・あったかの地区内の支援員が少ない。（地区外からの応援もあり）
- ・集会所の環境が高齢者にしんどくなっている。
- ・百歳体操が行われており、参加者も多い。
- ・例年総社祭りも開催されている。
- ・ゆずの栽培に力を入れている方が多い。

●今後の課題

- ・可能な限り、身近な集まりからの参加を呼び掛ける。
- ・各集いの集まりが良くなってきたので、絆が良くなるようなメニュー、魅力的なメニュー作りをしている。
- ・地区の集まりが少なくなっている。



☆五社神社

～社会資源～

- ☆清水川牧場
- ☆岩崎製茶(茶畑)
- ☆農家食堂・民宿 森本まる
- ☆五社神社
- ☆御留木(イチイガシ)
- ☆グループホームほうばい
- ☆円識さんと祠
- ☆保育所
- ☆中学校
- ☆農業構造改善センター
- ☆秋祭り
- ☆サザンカの高木
- ☆牧野富太郎の道
- などがあります。

■ 来栖野

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	108		
男	55	50.93%	
女	53	49.07%	
0～19歳	8	7.41%	
20～64歳	50	46.30%	
65歳以上	50	46.30%	
世帯数(戸)	63		
独居高齢者数	15		
要介護・要支援者数	13		



		令和3年8月31日	
人口(人)	97		
男	48	49.48%	
女	49	50.52%	
0歳～19歳	9	9.28%	
20歳～64歳	41	42.27%	
65歳以上	47	48.45%	
世帯数(戸)	51		
独居高齢者数	12		
要介護・要支援者数	11		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・独居世帯が多い、高齢者ばかりで防災面が不安。
- ・地域活動はみんなが参加している。
- ・地区集会所を毎週火曜日に利用。利用者も曜日が固定されているので楽しみにしている。
- ・地区内に交流する場がある。

●今後の課題

- ・高齢者が多くなり、次の世代へのバトンタッチが難しくなっている。
- ・支援員の育成。(次の担い手がいらない)



☆自然公園のオンツツジ

～社会資源～

- ☆へんろ石 ☆村役場 ☆農協
- ☆三原村自然公園
- ☆就労継続支援B型事業所 わらわら
- ☆国保診療所 ☆バスセンター
- ☆秋祭り などがあります。

■ 皆尾

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	113		
男	55	48.67%	
女	58	51.33%	
0～19歳	12	10.62%	
20～64歳	50	44.25%	
65歳以上	51	45.13%	
世帯数(戸)	55		
独居高齢者数	15		
要介護・要支援者数	17		



		令和3年8月31日	
人口(人)	88		
男	43	48.86%	
女	45	51.14%	
0歳～19歳	4	4.55%	
20歳～64歳	36	40.91%	
65歳以上	48	54.55%	
世帯数(戸)	50		
独居高齢者数	16		
要介護・要支援者数	8		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・集まった時に体操や認知症予防体操をしている。
- ・伝統の踊りは小学校に教えに行き、合同発表などで発表している。地域の秋祭りでも子どもから、大人まで踊っている。
- ・トンネルの出入口や公園の美化活動をしている。春には地域清掃をしている。

●今後の課題

- ・担い手不足
- ・集会所の収納スペースが少なく荷物の置き場所に困っている。



☆秋祭り:うちわ踊り

～社会資源～

- | | |
|-----------|--------------------|
| ☆福万寺跡と椿姫像 | ☆金毘羅さん |
| ☆猫神様 | ☆秋祭り:太刀踊り
うちわ踊り |
| ☆三権屋遺跡 | ☆公園 |
| ☆江越地蔵 | ☆炭焼き |
| ☆石鎚宵祭り | ☆公衆トイレ
などがあります。 |

■ 芳井

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	30		
男	13	43.33%	
女	17	56.67%	
0～19歳	3	10.00%	
20～64歳	18	60.00%	
65歳以上	9	30.00%	
世帯数(戸)	14		
独居高齢者数	6		
要介護・要支援者数	2		



		令和3年8月31日	
人口(人)	16		
男	7	43.75%	
女	9	56.25%	
0歳～19歳	0	0%	
20歳～64歳	10	62.50%	
65歳以上	6	37.50%	
世帯数(戸)	9		
独居高齢者数	2		
要介護・要支援者数	2		

●地域の現状（令和3年現在）

- ・集まりの行事があっても集まりが少ないため活気がない。
- ・人と人とのコミュニケーションが取れない、集まる人は決まっている。
- ・秋祭り、多面的の作業、自主防災訓練等を行っているが、新たなことに取り組むことは難しい。

●今後の課題

- ・みんなが助け合い、定期的集まって飲食するなど、語り合える場を作りたい。
- ・地区での交流が無い為、防災訓練はしているが不安がある。



☆へんろ小屋

～社会資源～

- ☆キシツツジ(村の花が多く生息)
 - ☆せがけさん
 - ☆秋祭り
- などがあります。

■ 下長谷

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	193		
男	101	52.33%	
女	92	47.67%	
0～19歳	22	11.40%	
20～64歳	87	45.08%	
65歳以上	84	43.52%	
世帯数(戸)	88		
独居高齢者数	24		
要介護・要支援者数	14		



		令和3年8月31日	
人口(人)	175		
男	94	53.71%	
女	81	46.29%	
0歳～19歳	18	10.29%	
20歳～64歳	75	42.86%	
65歳以上	82	46.86%	
世帯数(戸)	91		
独居高齢者数	10		
要介護・要支援者数	15		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・高齢化が進み、あつたか集いの参加者も少しずつ減ってきている。
- ・区長が防災関係の活動に力をいれている。

●今後の課題

- ・移動手段がなく買い物が不安。
- ・ゴミステーションが離れているので近くに欲しい。
- ・何かするにしても難しいが、声かけすれば集まる。



☆大タブの木

～社会資源～

- | | |
|----------|----------|
| ☆農家喫茶・民宿 | くろうさぎ |
| ☆あらふきさん | ☆大タブの木 |
| ☆小八木様墓地 | ☆岡ノ前遺跡 |
| ☆久繁の墓 | ☆宮奈路遺跡 |
| ☆姫瀧さん | ☆公衆トイレ |
| ☆下長谷遺跡 | ☆ししとうハウス |
| ☆キャンプ場 | |
- などがあります。

■ 上下長谷

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	95		
男	47	49.47%	
女	48	50.53%	
0～19歳	13	13.68%	
20～64歳	41	43.16%	
65歳以上	41	43.16%	
世帯数(戸)	44		
独居高齢者数	8		
要介護・要支援者数	5		



		令和3年8月31日	
人口(人)	84		
男	40	47.62%	
女	44	52.38%	
0歳～19歳	11	13.10%	
20歳～64歳	25	29.76%	
65歳以上	48	57.14%	
世帯数(戸)	43		
独居高齢者数	5		
要介護・要支援者数	7		

●地域の現状（令和3年現在）

- ・ 高齢者の方がまだまだ農業、野菜作りをしている。
- ・ あったかの集いに参加する人が減ってきた。

●今後の課題

- ・ 健康相談や健康体操をしているが、男性の参加者がいない。
- ・ 移動手段に不安がある。



☆ 健康体操

～社会資源～

- ☆法泉寺 ☆神母さま
 - ☆ビャクシンの古木 ☆亀伯道仙の碑
 - ☆逆修碑+拓本 ☆簡易郵便局
 - ☆秋祭り ☆森林組合
- などがあります。

■ 上長谷

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	112		
男	57	50.89%	
女	55	49.11%	
0～19歳	9	8.04%	
20～64歳	47	41.96%	
65歳以上	56	50.00%	
世帯数(戸)	52		
独居高齢者数	12		
要介護・要支援者数	10		



		令和3年8月31日	
人口(人)	107		
男	53	49.53%	
女	54	50.47%	
0歳～19歳	9	8.41%	
20歳～64歳	40	37.38%	
65歳以上	58	54.21%	
世帯数(戸)	53		
独居高齢者数	8		
要介護・要支援者数	17		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・秋祭りも太刀踊りや餅なげなどにぎやかにできている。
- ・隣近所仲良くして、時々集まって話をしたりしている。
- ・あつたか集いが月2回の開催。
- ・80歳を超えた高齢者世帯の夫婦が多い。
- ・集落営農組織が農地を守っている。
- ・あつたかの集いは参加者が少なくなり現在行えていない。
- ・観音さんのお祭りも行っている。

●今後の課題

- ・農地の担い手の後継者に不安がある。



☆あじさい祭り

～社会資源～

- ☆農家食堂・民宿 風車 ☆上長谷城跡
- ☆青空屋 ☆真念道標+拓本
- ☆農家レストラン・民宿 今ちゃん
- ☆観音淵 ☆観音さま
- ☆あじさい祭り愛好会 ☆武元兵庫の墓
- ☆地蔵峠の地蔵さま ☆秋祭り:太刀踊り
- ☆公衆トイレ

などがあります。

■ 狼内

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)		56	
	男	25	44.64%
	女	31	55.36%
	0～19歳	2	3.57%
	20～64歳	22	39.29%
	65歳以上	32	57.14%
世帯数(戸)		27	
独居高齢者数		8	
要介護・要支援者数		9	



		令和3年8月31日	
人口(人)		47	
	男	22	46.81%
	女	25	53.19%
	0歳～19歳	0	0%
	20歳～64歳	19	40.43%
	65歳以上	28	59.57%
世帯数(戸)		27	
独居高齢者数		5	
要介護・要支援者数		6	

●地域の現状(令和3年現在)

- ・住民の半数以上が65歳以上。
- ・集会所への集まりは定着してきたが、参加者は減ってきている。
- ・若い世代が少ない。
- ・取りまとめ役の後継者が少ない。
- ・出役等地区の行事に参加する人が固定化している。

●今後の課題

- ・高齢者の買い物、通院について考える必要がある。
- ・集会所の利用者が限られている、利用回数も少ない。
- ・助け合いができる雰囲気づくり



☆狼内五輪塔



☆防災マップづくり

～社会資源～

- | | |
|---------------|------------|
| ☆農家食堂 つの | ☆学法寺跡とお月さん |
| ☆みみごさん | ☆狼内五輪塔 |
| ☆西竹寺の版木(拓本だけ) | ☆御霊神社 |
| ☆狼内城跡 | ☆藤権現 |
| | などがあります。 |

■ 成山

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	39		
男	19	48.72%	
女	20	51.28%	
0～19歳	9	23.08%	
20～64歳	13	33.33%	
65歳以上	17	43.59%	
世帯数(戸)	14		
独居高齢者数	2		
要介護・要支援者数	2		



		令和3年8月31日	
人口(人)	29		
男	14	48.28%	
女	15	51.72%	
0歳～19歳	2	6.90%	
20歳～64歳	11	37.93%	
65歳以上	16	55.17%	
世帯数(戸)	13		
独居高齢者数	3		
要介護・要支援者数	0		

●地域の現状(令和3年現在)

- ・昔から引き継がれている行事は地域の人たちができるだけ参加し、継続されている。
- ・男性の参加者が見られるようになった。

●今後の課題

- ・地震対策に避難訓練が必要。
- ・若者がいないため、これから先の農地の活用や管理について困る。
- ・現状の継続。



☆お遍路さん休憩所

～社会資源～

- ☆いんげんさん
 - ☆おいせこさん
 - ☆へんろ道跡
 - ☆秋祭り
- などがあります。

■ 星ヶ丘

地域データ

		平成28年8月31日	
人口(人)	91		
男	47	51.65%	
女	44	48.35%	
0～19歳	28	30.77%	
20～64歳	51	56.04%	
65歳以上	12	13.19%	
世帯数(戸)	28		
独居高齢者数	2		
要介護・要支援者数			



		令和3年8月31日	
人口(人)	112		
男	57	50.89%	
女	55	49.11%	
0歳～19歳	22	19.64%	
20歳～64歳	74	66.07%	
65歳以上	16	14.29%	
世帯数(戸)	42		
独居高齢者数	2		
要介護・要支援認定者数	0		

●地域の現状（令和3年現在）

- ・ラグビー場の使用頻度が増え、親子を多く見かけるようになってきた。（県外のスポーツクラブが使用。）
- ・日中に自宅にいる住民は少なく、相談・訪問機能について早急に必要とされていない。
- ・あったか集いの開催はしているが、参加者が固定化している。
- ・地域で集まる機会もありコミュニケーションもとれている。

●今後の課題

- ・新たに団地に入ってきた方とどのようにつながりをもっていか。



☆星ヶ丘公園のヒメノボタン

～社会資源～	
☆四万十みはら菜園	☆星ヶ丘公園
☆特別養護老人ホーム星ヶ丘	☆農業公社
☆分譲地	☆ラグビー場
☆グラウンドゴルフ場	☆公衆トイレ
などがあります。	

第 3 章

計画の基本理念と目標

1. 計画の基本理念と重点目標

(1) 基本理念

本村の現状をみると、平成23年策定時から一貫して人口の減少、少子高齢化、高齢者世帯・高齢者単身世帯の増加が進んできており、地域での活動やボランティア活動などで活躍していた方も高齢になってきており、新たな担い手の確保が必要になってきています。また、買い物や移動、独居もしくは独居になることに対して不安を感じている高齢者や、子育てや近所付き合いに不安を感じている人も多くいることがわかりました。反面、まだまだ近所同士の繋がりもあり、自分にできる事があれば地域に貢献したいと考えている人も多くいます。

このような状況の下、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくためには、地域に住む一人ひとりが主体となって、「つながり」や「助け合い」の大切さを再認識し、「ともに支え合い」「手を取り合って」人と人との温かい結びつきを、次世代を担う子ども達にもつないでいくことが大切であることから、この計画の基本理念を前回と変わらず、「あたたかいきずなをつなぐ三原村」としました。

(2) 重点目標・活動目標

基本理念である「あたたかいきずなをつなぐ三原村」を実現するためには、具体的な目標を設定し、計画的に取り組む必要があります。

本計画では、前回計画同じく『支え合いの仕組みづくり』『住みたい・住みやすい環境づくり』『安心・安全な地域づくり』の3つを重点目標として掲げ、計画的に取り組んでいくことにしました。また、重点目標を達成するために、それぞれの活動目標を掲げ計画の推進に取り組んでいく必要があります。活動目標は前回策定時より活動してきた5年間から見てきた課題や達成できた課題等取り組みの中で変わってきたことを取りまとめ、次のようになりました。



支え合いのしくみづくり

住民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、一人ひとりが主体となり、子どもから高齢者までお互いに支え合う仕組みづくりを目指し、「交流の場と機会をつくろう!」「包括的支援体制の構築に向けた取組みをしよう!」「見守りの仕組みをつくろう!」を活動目標と定め、取り組んでいきます。

住みたい・住みやすい環境づくり

子どもから高齢者まで、誰もが住みやすい・住んで良かったと思えるような環境づくりを目指し、「防犯意識を持とう!」「生活環境を良くしよう!」「権利擁護の推進をしよう!」を活動目標と定め、取り組んでいきます。

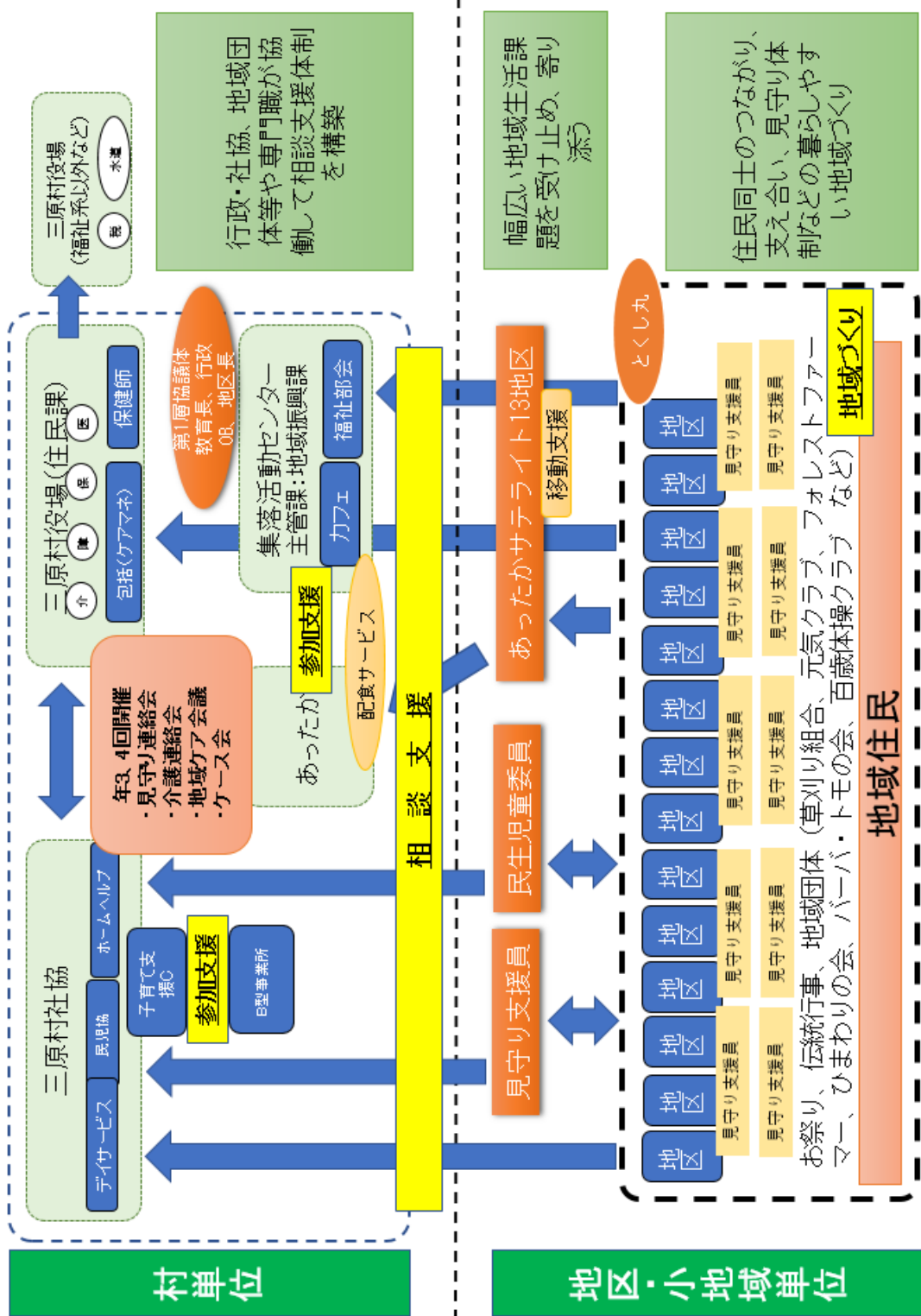
安心・安全な地域づくり

地域住民のつながりが徐々に希薄化している現状の中で、地域で孤立してしまうことや、将来の健康を不安に思っている方が多くいました。また、近い将来必ず起こるとされている南海大地震を心配する意見もあったことから、誰もが安心して生活を営むことができるよう、「健康に関心を持とう!」「防災に強くなろう!」「再犯防止に関する支援を推進しよう!」を活動目標と定め、取り組んでいきます。

2. 計画の体系

	重点目標	活動目標	具体的な取り組み
あ っ た か い き ず な を つ な ぐ 三 原 村	支え合いのしくみづくり	(1)交流の場と機会をつくろう！	集会所を拠点に集まろう
			世代にとらわれず交流しよう
			地区と地区で交流しよう
		(2)包括的支援体制の構築に向けた取り組みをしよう！	関係機関とのネットワークを強化しよう
			役場、社協の相談体制を充実させよう
			生活困窮世帯の自立に向けた支援をしよう
		(3)見守りの仕組みをつくろう！	近所で助け合おう
			住民同士で支え合おう
			あいさつなど、声かけをしよう
	住みたい・住みやすい環境づくり	(1)防犯意識を持とう！	身近な情報提供をしよう
			防犯灯を増やそう
			戸締りの習慣を身につけよう
		(2)生活環境を良くしよう！	地域全体で見守りをしよう
			道路をきれいにしよう
			今ある自然を大事にしよう
			買い物支援について考えよう
		(3)権利擁護の推進をしよう！	相談できる仲間をつくろう
			成年後見制度の利用促進
	安心・安全な地域づくり	(1)健康に関心を持とう！	健康診断を受けよう
			健康管理をしよう
			日頃から体力づくりをしよう
楽しみを見つけよう			
(2)災害に強くなろう！		自主防災組織を活用しよう	
		定期的な防災訓練で意識を高めよう	
		地域の防災マップを作ろう	
		災害時避難行動要支援者対策をしよう	
(3)再犯防止に関する支援を推進しよう！		地域での受け入れ体制を整備しよう	
		社会復帰・更生のための支援を推進しよう	
		再犯防止に向けた支援を推進しよう	

三原村地域福祉支援体制（イメージ図）



第 4 章

具体的な取り組み

重点目標1 支え合いのしくみづくり

活動目標: (1) 交流の場と機会をつくろう!

具体的な 取り組み

- ・集会所を拠点に集まろう
- ・世代にとらわれず交流しよう
- ・地区と地区で交流しよう

住み慣れた家庭や地域で安心して生き生きと生活していくためには、近所や地域での支え合いが大切であり、気軽に誰でも自由に集まることのできる居場所づくりが必要です。また、同じ地域の人だけでなく、支援を必要としている子育て家庭や障害者など、同じ悩みを抱えた人同士が集い、相談や仲間づくりができる居場所をつくることも必要です。

地域に住む人たちと、世代にとらわれず交流をすることにより、生涯に渡って同じ地域に住み続ける事の意義や喜びを学び合い、お互いに支え合ったり、助け合ったりできるような仕組みづくりも大切です。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆日頃から近隣同士で声掛けやあいさつをしよう。
- ◆村・地区の行事や交流の場へ出かけるときには、近所で誘い合おう。
- ◆地区の行事を大切に、近所とのつながりを深めよう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆あったかふれあいセンターの職員が訪問活動時、参加の声かけをします。
- ◆民生委員・児童委員の見守り活動をサポートします。
- ◆地区ならではの交流の場づくりを支援します。
- ◆地区の美化(清掃)活動等に子どもから高齢者まで参加できるように学校に呼びかけを検討していきます。
- ◆保育所、小学校、中学校の人権の花植えに住民参加の呼びかけをしています。

村の取り組み

- ◆あったかふれあいセンターの充実と周知に努めます。
- ◆高齢者と保育園児・小学生・中学生との交流事業を推進します。
- ◆世代・地区にとらわれない交流の場ができるよう取り組みます。

活動目標：(2) 包括的支援体制の構築に向けた取り組みをしよう！

具体的な
取り組み

- ・関係機関とのネットワークを強化しよう
- ・役場、社協の相談体制を充実させよう
- ・生活困窮世帯の自立に向けた支援をしよう

少子化・高齢化、人口減少が進むと同時に、単身世帯や高齢者のみの世帯の増加など家族の在り方が変化し、福祉に関する課題も多様化・複雑化しています。

従来の高齢者や障がい者、児童といった専門分野ごとに取り組んできた支援では対応しきれない課題も出てきており、認知症のある高齢者と生活する家庭やひとり暮らしの高齢者の増加、ひとり親家庭等で悩みや問題を抱える家庭が地域で孤立することが懸念されています。

このため、地域の各組織・団体がお互いの役割を尊重し、行政や社会福祉協議会との連携を図りつつ、地域を見守り、支援する体制の強化が必要です。また、福祉に関係する部署に限らず村全体で連携を図り、社会福祉協議会やコミュニティ組織等と協働して、多様化・複雑化した地域課題に対して包括的な支援ができる体制の整備が求められています。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆気軽に声をかけあい、助け合おう。
- ◆一人暮らしの人へ声かけをしよう。
- ◆世代を超えて交流し、繋がりを作ろう。
- ◆気になる人や世帯を見つけたときは、抱え込まずに相談しよう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆心配ごと相談所を開設します。
- ◆同じ趣味や仲間が集える場作りを支援します。
- ◆相談先の情報を住民に発信します。
- ◆相談体制を充実させます。

村の取り組み

- ◆地域の活動を支援します。
- ◆相談体制を充実させます。
- ◆福祉・介護サービスの情報を発信します。
- ◆行政手続き、人権擁護関係の相談体制を充実させます。

活動目標：(3) 見守りの仕組みをつくろう！

具体的な
取り組み

- ・近所で助け合おう
- ・住民同士で支え合おう
- ・あいさつなど、声かけをしよう

人口の減少に伴い、人と人の繋がりが希薄になってくることが予想されます。高齢になると家に閉じこもりがちになったり、地域の中でコミュニケーションをとることが苦手な人や、U・Iターンなどで村に知り合いが少なく不安な方もいます。また、ひとり暮らしの高齢者、子育て中の方、障害を持った方など地域の中で、不安や困難を抱えている方もいます。

困った時に頼りになるのは隣近所の皆さんです。日ごろからあいさつや声を掛けあい、困った時はお互い様と言えるような仕組みを作りましょう。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆一日1回隣の人の顔を見よう。
- ◆できることからお互い助け合おう。
- ◆地域の活動に参加しよう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆民生委員・児童委員の見守り活動をサポートします。
- ◆見守り協定を結んでいる、企業と連携した取り組みをしていきます。
- ◆配食サービスによる見守りを充実させます。
- ◆世代間の交流の機会をつくり、住民同士の関係性の構築に努めます。
- ◆とくし丸やじまんやと連携し見守り活動を推進します。

村の取り組み

- ◆スクールガードリーダーを中心とした見守り活動を強化します。
- ◆あったかふれあいセンターの機能を充実させます。
- ◆関係機関との見守りネットワークづくりに取り組みます。

重点目標2 住みたい・住みやすい環境づくり

活動目標: (1) 防犯意識を持とう!

具体的な 取り組み

- ・身近な情報提供をしよう
- ・防犯灯を増やそう
- ・戸締りの習慣を身につけよう

近年不審者による犯罪や、空き巣被害、暗い道での交通事故など増加しています。本村の住民の傾向として「犯罪は人の多い都会だから起こることだ」「周りは知った人ばかりだから」と言った意識が強く、家の鍵を掛けずに外出・就寝する人もいます。近年では特殊詐欺など機械操作が苦手な高齢者を狙った犯罪も増えており、また、村外の人が入ってくる機会が増えている為、見知らぬ人が村内を歩いていてもおかしくなく、今までのように安全ではなくなっています。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆外出時、就寝時に戸締りをしよう。
- ◆暗い道ではライトをつけよう。
- ◆犯罪について学ぼう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆あったかふれあいセンター事業の集いの場や訪問活動時に防犯についての啓発活動を実施します。
- ◆民生委員児童委員の街頭指導に務めます。
- ◆関係機関との連絡網の強化に努めます。
- ◆訪問活動にて見知らぬ人がいたら警戒します。

村の取り組み

- ◆防犯灯を増やすよう努めます。
- ◆住民の防犯意識が高まるように啓発します。
- ◆防犯カメラの設置を検討します。

活動目標：(2) 生活環境を良くしよう!

具体的な 取り組み

- ・地域全体で見守りをしよう
- ・道路をきれいにしよう
- ・今ある自然を大事にしよう
- ・買い物支援について考えよう

生活を営んでいく中で欠かせないのは買い物です。高齢者の中には免許を返還している方もおり、買い物が不便と言った意見が多く、訪問販売はありますが、全ての地区を回れておらず、全ての人に支援ができていません。また、『三原村の良いところは』と聞くと、「自然が多い」「食べ物がおいしい」「地域の人が優しい」など自然環境を中心に様々な意見が返ってきました。しかし、「道路にゴミが落ちている」「草が生えっぱなしで雑草が目立つ」などと感じている方もいます。絶滅危惧種のヒメノボタンや、水面を飛び交うホタルなど、豊かな自然の保護に取り組む必要もあります。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆かわりに買い物をしてくるなど、声をかけ合おう。
- ◆道路沿いなど、近所の美化活動しよう。
- ◆地域の自然を活かした取り組みしよう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆あったかふれあいセンター事業で買い物について支援します。
- ◆関係機関と連携して検討します。
- ◆環境美化活動(花植え、清掃活動等)への啓発活動をします。
- ◆とくし丸とじまんやと連携していきます。

村の取り組み

- ◆道路沿いの草刈りや一斉清掃を定期的に行います。
- ◆あったかふれあいセンター・介護保険サービスの充実と周知に努めます。
- ◆ポイ捨て禁止や不法投棄禁止等、啓発に努めます。

活動目標:(3)権利擁護の推進

具体的な 取り組み

- ・相談できる仲間をつくろう
- ・成年後見制度の利用促進

認知症、障害などによって、自身で判断することが難しい人の為に、不利益を被ることなく、安心して地域で暮らし続けられる仕組みづくりが求められています。

また、高齢者や障害者、子どもへの虐待などは、被害者の尊厳を著しく害する行為です。発生防止や早期発見、対応ができる体制づくりに取り組み、権利擁護を推進します。

成年後見制度は、家庭裁判所によって選任された成年後見人が、身の回りに配慮しながら、財産の管理や契約を行い、本人の権利を守り生活を支援する制度です。認知症や障害などにより意思決定は不十分になったとしても、住み慣れた地域で生活し続けられるよう、成年後見制度の利用を促進します。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆悩みや困りごとを地域の方や行政等に相談しましょう。
- ◆気になる家庭を見つけたら、関係機関に相談しましょう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆区長、民生委員等と連携し支援が必要な人の把握に努めます。
- ◆地域住民のあらゆる相談に対応します。

村の取り組み

- ◆成年後見制度について普及啓発
- ◆支援体制の充実と地域連携ネットワークの構築

重点目標3 安心・安全な地域づくり

活動目標：(1) 健康に関心を持とう!

具体的な 取り組み

- ・健康診断を受けよう
- ・健康管理をしよう
- ・日頃から体力づくりをしよう
- ・楽しみを見つけよう

高齢化が進む中で、地域で生きがいを感じ、生き生きと暮らしていくためには「健康」が最も基本となるものであり、心身共に健康であることは、元気で生きがいのある生活を送るうえで必要不可欠です。

高齢になっても健康を維持していくために、自分自身で健康管理を行い、体力づくり、趣味や楽しみを見つけることが大切です。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆年1回は健康診断を受けよう。
- ◆体力に応じた健康法を見つけて実行しよう。
- ◆ウォーキングなど仲間を集めて行おう。
- ◆バランスのとれた食事をしよう。
- ◆みんなとおしゃべりをするなど楽しめる場をつくろう。



社会福祉協議会の取り組み

- ◆あったかふれあいセンター事業を実施します。
- ◆食事会や楽しみづくり等の仲間と集まる場の充実に努めます。
- ◆輪投げ大会やふれあい運動会の継続と充実に努めます。
- ◆配食サービスの充実について検討します。

村の取り組み

- ◆健康診断・特定健診を受けやすい体制づくり、啓発に努めます。
- ◆関係団体と連携し、バランスのとれた食生活について普及啓発に努めます。
- ◆生涯スポーツの推進に取り組みます。

活動目標: (2) 災害に強くなろう

具体的な 取り組み

- ・自主防災組織を活用しよう
- ・定期的な防災訓練で意識を高めよう
- ・地域の防災マップを作ろう
- ・災害時避難行動要支援者対策をしよう

近い将来起こり得る南海地震や台風などの災害には日頃からの十分な備えが必要になります。まず、自分の身を守ることが大切ですが、高齢者や障害者、乳幼児等の災害時に支援を必要とする方々については、地域の皆さんの力が必要です。

被害を最小限に抑えるためには、自主防災組織を活性化させ、計画的な防災訓練等の実施が必要であるとともに、要援護者の安否確認や避難誘導などの安全確保についても、日頃から考えておかなければなりません。

地震や台風などの災害から自分自身や家族を守るため、災害発生時の地域住民による協力体制を構築し、高齢者や障害を持つ方なども安心して暮らすことのできる村づくりが必要です。

★今後の取り組み

地域住民の取り組み

- ◆避難場所の確認をしよう。
- ◆防災マップを作って、地域の現状を把握しよう。
- ◆防災訓練や防災学習に積極的に参加しよう。
- ◆緊急時に備え、日頃から高齢者へ声かけをしよう。
- ◆防災グッズを備えよう。
- ◆どんな防災資材があるか確認しておこう。

社会福祉協議会の取り組み

- ◆あったかふれあいセンター事業で実施場所ごとに防災マップを作ります。
- ◆あったかふれあいセンター事業で防災訓練、防災学習会を実施していきます。
- ◆小学校、中学校で防災について勉強会の支援をします。
- ◆災害ボランティアセンターの運営体制づくりをします。

村の取り組み

- ◆災害時個別避難計画の作成を進めます。
- ◆村全体や村外の関係機関と連携した防災訓練を実施します。
- ◆避難支援者を中心とした近隣の「ネットワークづくり」を進め、協力体制を作ります。
- ◆子どもの頃から防災意識を高めるための取り組みを強化します。
- ◆自主防災組織の活動を推進し、組織の活性化を図ります。
- ◆防災について学習する場を提供します。

活動目標: (3) 再犯防止に関する支援を推進しよう

(三原村再犯防止推進計画)

犯罪や非行をした人の中には、生活困窮や高齢、障害等、さまざまな生きづらさを抱えている人が少なくなく、安定した仕事や住居を確保できないこと等から、社会復帰が困難な状況となり、再び犯罪や非行をしてしまう人もいます。現在、刑法犯の検挙者のうち約半数が再犯者であり、再犯者を減らすことは、犯罪のない安心・安全な地域づくりに大きくつながることから、犯罪や非行をした人の地域の居場所づくりを目的とした理解促進の啓発や、立ち直りを支援する再犯防止の対策を推進します。

なお、本項目を再犯防止推進法第8条第1項に基づく、「三原村再犯防止推進計画」として位置づけます。

地域での受け入れ体制を整備しよう

- ◆立ち直りを望む犯罪をした者等の理解促進に向けた、「社会を明るくする運動」や「再犯防止啓発月間(7月)」等の機会、多様な媒体を活用した広報を行いながら啓発を充実させます。
- ◆保護司適任者確保のための開拓に協力します。

社会復帰・更生のための支援を推進しよう

- ◆刑事司法関係機関や医療・福祉関係機関等との連携強化による、各ニーズに合った支援の提供体制を整備します。
- ◆刑務所出所者等に対し、必要に応じて生活困窮者自立支援制度を紹介し、社会生活を営む上で必要な支援を行います。

再犯防止に向けた支援を推進しよう

- ◆犯罪や非行に至る背景や問題の発見、その解決に向けた法務少年支援センターこうちや、コレワーク四国、高知保護観察所、幡西保護区保護司会等の関係機関・団体との連携による個別支援を推進します。

第 5 章

計画の推進体制

1. それぞれの役割

誰もが住みなれた地域で、心豊かに安心していきいきと暮らせるよう、住民・社会福祉協議会そして行政がそれぞれの担う役割を踏まえ、互いに連携し、協働しながら、地域社会全体で本計画の理念である「あったかいきずなをつなぐ三原村」の実現に向けた取り組みを進めていくことが重要です。そのためには、それぞれの実施主体に以下のような役割が求められています。

住民の役割

住民には、地域福祉の担い手になることが期待されています。村民一人ひとりが自分にできることは自分でという意識をもつとともに、地域社会の一員として、福祉に対する意識を高め、個人が持っている知識や技術を活かし、区長やボランティアなどの地域活動に積極的に参加することが求められています。また、行政・社会福祉協議会では日常生活に対し、目が届かないところも多くあり、住民一人ひとりが地域のことに関心を持ち、ニーズや生活課題を把握し、その解決に向けて知恵を出し合い、協力し、具体的な支え合い活動に結びつけていくことが重要です。そのためには、日ごろからのあいさつや自然な声かけを行い、隣近所とのつきあいを深めておくことが大切です。

社会福祉協議会の役割

平成24年3月に『あったかいきずなをつなぐ三原村』を基本理念とし策定された三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画において社会福祉協議会では、地域福祉活動推進のコーディネーターとして各種関係団体間のネットワークづくりやお互いが支え合う仕組みづくりに取り組んできました。令和4年度に引き継ぐ第3期三原村地域福祉計画・三原村地域福祉活動計画では、前回浮上した課題にも着目し、社会福祉協議会として担う役割として、地域のつながり・助け合う支え合う仕組みを現実のものとなるよう住民に寄り添えるボランティア活動の参加促進、地域福祉活動推進を強化し「誰もがその人らしく住み慣れた地域で安心して暮らせる」ように関係機関と連携して取り組んでいきます。

村の役割

村は、地域福祉の充実に向け、住民・社会福祉協議会・関係機関等との協働で福祉施策を総合的に推進していきます。地域住民や関係団体等の自主的な地域福祉活動を支援し、地域の実態や住民ニーズの把握につとめ、福祉に関する相談体制や情報提供の充実を図ります。

地区の役割

住民が主体となって課題を解決していくためには、地区の特色を活かし、それぞれの地区で福祉活動に取り組んでいくことが大切です。本村では14地区を単位として地域の実態を踏まえた地区別の活動計画を策定し、取り組みを進めていきます。

地区別の活動計画は、より身近な地域で住民が主体となってきめ細やかな活動ができるように取りまとめたものです。各地区で住民同士が課題を話し合い、取り組みを考え、実行し、より良い地域を作っていくことが地域福祉を進めていくうえで重要になります。

2. 計画の進捗管理と検証体制

本計画を効果的かつ継続的に推進していくため「三原村地域福祉計画・活動計画推進委員会」を設置し、関係機関と連携しながら、計画の進捗状況を把握し、進捗状況の評価と見直しを必要に応じ行っていきます。

資料編

【目次】

三原村地域福祉計画策定委員会設置要綱	．．．．．	1
三原村地域福祉計画策定委員会委員名簿	．．．．．	2
アンケート調査結果	．．．．．	3

三原村地域福祉計画策定委員会設置要綱

(平成28年3月16日 要綱第7号)

(設置)

第1条 社会福祉法(昭和26年法律第45号)第107条に基づき、三原村地域福祉計画(以下「地域福祉計画」という。)の策定に当たり、本村における地域福祉の推進について、広く住民の意見を聴取し計画を策定するため、三原村地域福祉計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) 地域福祉計画の策定に関すること。
- (2) その他地域福祉計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員14人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者その他地域福祉に関し、見識を有する者のうちから村長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、地域福祉計画の策定が完了するまでとする。ただし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長および副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、住民課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、村長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

三原村地域福祉計画策定委員会委員名簿

役職	氏名	備考
委員長	大倉 民雄	広野地区
副委員長	津野 美也	狼内地区
委員	藤本 かえ	下切地区
	山川 政幸	亀ノ川地区
	福本 睦水	柚ノ木地区
	宮口 久子	宮ノ川地区
	沖本 重富	来栖野地区
	中平 千代子	皆尾地区
	岡本 君子	芳井地区
	兵頭 恵	下長谷地区
	岡村 未希子	上下長谷地区
	小橋 益子	上長谷地区
	沖 加代美	成山地区
	荒木 陽子	星ヶ丘地区
事務局	沢良木 孝行	住民課長
	谷本 純子	住民福祉支援係長
	矢野 綾	住民福祉担当
	岡本 貢	三原村社会福祉協議会
	市原 美由紀	三原村社会福祉協議会
	小椋 博子	三原村社会福祉協議会
	坂本 絵里	幡多福祉保健所
	藤田 彩花	幡多福祉保健所
	谷口 友哉	高知県社会福祉協議会

3.アンケートの結果

【一般の方向けアンケート結果】

問1 あなたの性別をお答えください（〇は1つ）

性別	男	女	合計
人数	55	57	112
割合	49.1%	50.9%	100%

問2 あなたの年齢をお答えください（〇は1つ）

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
人数	1	10	26	30	23	15	5	2
割合	0.9%	8.9%	23.2%	26.8%	20.5%	13.4%	4.5%	1.8%

問3 あなたの職業をお答えください

職業	会社員	自営業・農林業	公務員	会社役員	自由業
人数	24	11	34	4	1
割合	21.4%	9.8%	30.4%	3.6%	0.9%

専業主婦（夫）	学生	パート・アルバイト	無職	その他
3	1	15	13	6
2.7%	0.9%	13.4%	11.6%	5.4%

問4 あなたが現在お住いの地域に〇をつけてください（〇は1つ）

部落名	下切	亀ノ川	広野	袖ノ木	宮ノ川	来栖野	皆尾
人数	4	2	0	21	33	9	4
割合	3.6%	1.8%	0%	19.1%	30.0%	8.2%	3.6%

芳井	下長谷	上下長谷	上長谷	狼内	成山	星ヶ丘
3	10	6	5	2	1	10
2.7%	9.1%	5.5%	4.5%	1.8%	0.9%	9.1%

問5 あなたの世帯構成を教えてください

世帯構成	ひとり世帯	夫婦のみの世帯	二世帯世帯	三世帯世帯	その他
人数	14	8	71	13	5
割合	12.6%	7.2%	64.0%	11.7%	4.5%

また、次のような方はいらっしゃるでしょうか（あてはまるものすべてに〇）

	65歳以上の方	介護を必要とする方	身体・知的・精神などの障がいがある方
人数	33	7	9
割合	67.3%	14.3%	18.4%

問6 あなたのお住いの地域に愛着はありますか（〇は1つ）

	愛着がある	多少愛着がある	あまり愛着はない	愛着はない	その他
人数	52	42	12	4	1
割合	46.8%	37.8%	10.8%	3.6%	0.9%

問7 あなたは、近所の人とどのようなお付き合いをしていますか

	仲が良くお互いの家を行き来する	日ごろから助け合っている	会えば立ち話をする	顔を合わせればあいさつをする
人数	11	25	33	52
割合	8.9%	20.2%	26.6%	41.9%

顔を知っているが声をかけることはない	ほとんど顔も知らない	近所づきあいはしない	その他
1	1	0	1
0.8%	0.8%	0%	0.8%

問8 あなたは、ご近所との付き合いは必要だと思いますか（○は1つ）

	必要だと思う	多少必要だと思う	あまり必要ないと思う	必要ないと思う	その他
人数	64	44	2	0	2
割合	57.1%	39.3%	1.8%	0.0%	1.8%

問9 あなたは、どのような時にご近所づきあいが必要だと思いますか
（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
災害が発生したとき	103	46.6%
家を留守にするとき	34	15.4%
地域の活動に参加したいとき	51	23.1%
家族の介護・介助を一時的にできなくなったとき	16	7.2%
子どもの預かりが必要になったとき	14	6.3%
その他	3	1.4%

問10 問8で近所との付き合いが[必要ない][あまり必要ない]と答えた方にお聞きします
必要ないと思われるのは、どのような理由からですか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
特に困っていることはないから	1	25%
近所づきあいが煩わしいから	1	25%
人とのかかわりが苦手だから	1	25%
ほとんど家にいることがないから	0	0%
近所づきあいにかける時間が惜しいから	1	25%
その他	0	0%

問11 あなたのお住まいの地域では、どのようなことが問題だと思いますか
（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
地域の活動に参加する人が少ない	28	18.4%
災害時など緊急時の対応が分からない	17	11.2%
隣近所との交流が少ない	7	4.6%
高齢者独居世帯への支援が不十分	16	10.5%
地域の情報がない	9	5.9%
地域の活動に参加する機会が少ない	12	7.9%
特に問題はない	31	20.4%
分からない	28	18.4%
その他	4	2.6%

問12 家の周囲5軒くらいに住んでいる人の顔と名前が分かりますか（○は1つ）
（村営住宅入居者は、その住宅を含めずに5軒くらい）

	すべて把握している	顔は知っているが名前は知らない	ほとんど知らない	その他
人数	80	20	7	5
割合	71.4%	17.9%	6.3%	4.5%

問13 あなたは、地域の中で身の回りのこと、家事や外出などで困っている人がいる場合、どのような対応をとると思いますか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
頼まれたら可能な範囲で手助けする	99	69.2%
自ら積極的に声をかけ、手助けする	9	6.3%
自分では手に負えないので自治会などに知らせる	17	11.9%
仕事などで対応する時間がない	12	8.4%
責任が伴うので対応したくない	5	3.5%
手助けする気持ちはない	0	0%
その他	1	0.7%

問14 あなたは近所の人に頼まれたとき、次のような手伝いをしようと思いますか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
ごみを出す	55	13.9%
買い物をする	32	8.1%
食事を作る	4	1.0%
話し相手	49	12.4%
病院等への送迎	22	5.6%
散歩や外出に同行	12	3.0%
草刈りや庭掃除	22	5.6%
部屋の掃除や片付け	4	1.0%
電球の交換	36	9.1%
声掛けや安否確認	56	14.2%
子どもを預かる	17	4.3%
災害時の助け	77	19.5%
特にない	7	1.8%
その他	2	0.5%

問15 あなたは勤務日以外の日、休みの日は家で過ごしていますか

①あてはまるものに○

	ほとんどいる	時々いる	ほとんどいない
人数	43	55	14
割合	38.4%	49.1%	12.5%

② ①について、構わない範囲で主に何をして過ごしているかお答えください

・ 家事（掃除・洗濯等）	・ 子どもの部活動	・ 仕事の仕込み、散歩
・ 車の洗車	・ 子どもの送迎	・ 勉強
・ 家周りの清掃、草刈り等	・ 自分の病院	・ スポーツ
・ 庭の手入れ	・ 趣味	・ 家庭菜園
・ 家族と外出	・ ゲーム	・ ネットサーフィン
・ 母の介護	・ 読書	・ ドラドラ過ごしている
・ 孫のもり	・ テレビを見る	・ 身体と心を休める
・ 育児	・ 買い物	
・ 子ども達と遊ぶ	・ 畑仕事	

問16 あなたは過去5年間に、地区活動や地域の集まり、ボランティア活動に参加したことがありますか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
一斉清掃	84	17.2%
スポーツ大会	12	2.5%
みはら祭・清流まつり	67	13.8%
どぶろく農林文化祭	73	15.0%
青年団活動	13	2.7%
婦人会活動	5	1.0%
保、小中学校協力活動・行事	54	11.1%
地域の活動	50	10.3%
社会や地域での奉仕活動	21	4.3%
集落活動センター（カフェの利用、イベントへの参加等）	38	7.8%
災害に関する活動	36	7.4%
高齢者に関する活動	5	1.0%
交通安全、防犯に関する活動	15	3.1%
青少年に関する活動	2	0.4%
障害者に関する活動	0	0%
子育てに関する活動	4	0.8%
国際交流や多文化共生に関する活動	1	0.2%
参加した事がない	7	1.4%
その他の活動	0	0%

問17 参加したことがないと答えた方にお尋ねします。参加できなかった理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
活動に参加する時間がない	1	14.3%
体調が優れない	1	14.3%
参加方法が分からない	1	14.3%
自治会などの組織に入っていない	0	0%
一緒に活動する仲間がない	2	28.6%
特に興味がない	0	0%
家族の理解が得られない	0	0%
その他	2	28.6%

問18 あなたは問16のような社会奉仕活動や地域活動に参加することをどう思いますか（○は1つ）

	人数	割合
今後も続けたい	35	32.4%
ぜひ参加したい	1	0.9%
できれば参加したい	62	57.4%
できることなら参加したくない	6	5.6%
その他	4	3.7%

問19 問18で「できることなら参加したくない」と答えた方は、どのような理由からでしょうか（○は1つ）

	人数	割合
家事・介護・育児など、他にやることがあって忙しいから	2	22.2%
行事や活動の内容に興味や関心がなく、参加したいと思わない	2	22.2%
自分の趣味や余暇活動を優先したい	2	22.2%
付き合いが煩わしい	1	11.1%
体調不良	2	22.2%
その他	0	0%

問20 福祉に関するボランティア活動や助け合い活動を活性化するためにどのようなことが必要だと思いますか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
活動の情報提供の充実、PR強化	63	21.2%
子どもの頃からの福祉教育の強化	45	15.2%
活動に関する相談窓口の充実	29	9.8%
個々の能力を活用できる人材バンクの活用	30	10.1%
運営に必要なお金の補助	42	14.1%
人材を育成するための講座の開催	19	6.4%
活動に必要な場所の確保	29	9.8%
活動団体間の連絡調整機能の強化	19	6.4%
ボランティア休暇の充実	15	5.1%
その他	6	2.0%

問21 あなたは「地域福祉」という言葉で何をイメージしますか（あてはまるものすべてに○）

	人数	割合
高齢者、障害者の生きがいづくり	53	11.1%
高齢者の福祉・介護サービス	88	18.5%
障害者の福祉・介護サービス	64	13.4%
働き盛りの健康づくり	16	3.4%
生活保護	17	3.6%
生活困窮者の支援	35	7.4%
安全・安心な出産環境	17	3.6%
保育所、小中学校の充実	28	5.9%
青少年対策	10	2.1%
ひとり親家庭の自立支援	21	4.4%
少子化対策	20	4.2%
災害時の避難体制	33	6.9%
住民の助け合い、支え合い	51	10.7%
すべての人にもたらされる豊かさや幸せのこと	20	4.2%
具体的にイメージがわからない	2	0.4%
その他	1	0.2%

問22 あなたは次の福祉に関する団体や資源、制度を知っていますか

1. 民生委員・児童委員

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
人数	23	51	27	9
割合	20.9%	46.4%	24.5%	8.2%

2. 地域包括支援センター

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
人数	10	41	45	14
割合	9.1%	37.3%	40.9%	12.7%

3.社会福祉協議会

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
人数	22	59	23	6
割合	20.0%	53.6%	20.9%	5.5%

4.成年後見制度

	よく知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない
人数	10	35	47	18
割合	9.1%	31.8%	42.7%	16.4%

問23 あなたは現在、福祉サービスの情報をどの程度入手出来ていると感じますか
(○は1つ)

	人数	割合
十分入手出来ている	5	4.6%
十分でないが入手出来ている	36	33.3%
ほとんど入手出来ていない	58	53.7%
全く入手出来ていない	8	7.4%
福祉サービスの情報は必要ない	1	0.9%
その他	0	0%

問24 「十分入手出来ている」「十分でないが入手出来ている」と答えた方にお伺いします。あなたは福祉サービスの情報を主にどこから入手していますか
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
村の広報誌	26	27.4%
村のホームページ	3	3.2%
新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	8	8.4%
自治会の関係者	5	5.3%
社会福祉協議会	11	11.6%
村役場の窓口	11	11.6%
利用している福祉施設や事業所のスタッフ	5	5.3%
友人・知人	5	5.3%
民生委員・児童委員	4	4.2%
家族・親戚	8	8.4%
インターネット	6	6.3%
その他	3	3.2%

問25 あなたの親に介護が必要になった場合、あなたはどのようにしたいとお考えですか
(○は1つ)

	人数	割合
家族だけで介護をする	0	0%
家族が中心となって介護をするが、足りないところは介護サービスを利用する	46	43%
積極的に介護サービスを利用して在宅で介護をする	24	23%
できれば介護施設で介護してもらいたい	27	25%
その他	9	8%

問26 あなたは心配ごとや悩みを聞いてほしい時、だれに相談しますか
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
家族	89	34.8%
親戚	26	10.2%
友人・知人	66	25.8%
近所の人	10	3.9%
区長・地域の役員	3	1.2%
民生委員・児童委員	7	2.7%
人権擁護委員	1	0.4%
ホームヘルパー	0	0.0%
保健師	8	3.1%
三原村役場	8	3.1%
三原村社会福祉協議会	12	4.7%
学校の先生・保育園の先生	8	3.1%
医師	5	2.0%
相談する人がいない	0	0.0%
相談しない(自分で解決する)	10	3.9%
その他	3	1.2%

問27 現在、困っていること、不安に思っていることはありますか
①あてはまるものに○をしてください

	人数	割合
健康・病気について	21	13.0%
介護について	10	6.2%
家族関係について	2	1.2%
近所づきあいについて	2	1.2%
経済的なことについて	19	11.8%
子育てについて	5	3.1%
教育について	4	2.5%
住まいについて	13	8.1%
食事や身の回りのことについて	0	0.0%
交通について	3	1.9%
買い物について	2	1.2%
仕事について	17	10.6%
防災について	9	5.6%
特にない	53	32.9%
その他	1	0.6%

② ①について可能な範囲で具体的にお答えください

<ul style="list-style-type: none"> ・ 持病があるので金銭的に将来が不安 ・ 保育所の先生の向上心、対応 ・ 借家が古くなっているため、引っ越すべきか悩んでいる ・ コロナ禍による収入の減少 ・ 防災グッズの購入や入れ替えに費用がかかる ・ 風力発電計画による大規模な森林開発から誘発される災害や風力病等、不安です ・ 親の認知症＝介護 ・ 家を建てたいが、地域の中に適する土地がない ・ 借家に住んでいる。村を長期留守にしたり、災害で住居を失ったとき、村内に住み続けられるか不安に思っている ・ 祖母、親の面倒をどこまでみないといけないのか ・ 病気を抱えており、頻繁に通院している状況のため、今後のことを考えると少々不安を感じる ・ 知り合いがいないので、聞くに聞けない。(転入したばかりで、地域のことが分からない) ・ リストラをうけ、仕事を新たに探さなければならない ・ 高血圧の持病があるので不安
--

問28 あなたは、将来、不安に思うことはありますか

①あてはまるものに○をしてください

	人数	割合
健康・病気について	50	20.8%
介護について	36	15.0%
家族関係について	4	1.7%
近所づきあいについて	3	1.3%
経済的なことについて	28	11.7%
子育てについて	6	2.5%
教育について	2	0.8%
住まいについて	19	7.9%
食事や身の回りのことについて	7	2.9%
交通について	14	5.8%
買い物について	17	7.1%
仕事について	17	7.1%
防災について	16	6.7%
特になし	20	8.3%
その他	1	0.4%

② ①について可能な範囲で具体的にお答えください

<ul style="list-style-type: none"> ・ 三原村は交通の便が良くないので、自分たちが年老いて車の運転ができなくなれば買い物等が非常に困るので、移住も視野に入れている。 ・ 老人になり交通機関が不安。買い物はじまんやがあるが高すぎる ・ 子どもの将来が心配 ・ 先が見えない ・ 生活習慣病などの悪化とか心配。ケガなども心配 ・ 子の引きこもり = 無職 ・ 65歳からの年金制度がじゃまをする。働く場所も村内に少なすぎる ・ 村外に親族がおり、将来的に介護が必要となった際の対応を今後考えなければならぬ。8.13は問27の通り。村外への移動手段を自家用車に頼り切っており、運転技能の衰えに不安を感じる ・ 祖母、親の面倒をどこまでみないといけないのか ・ 将来のことを考えると不安だけです ・ 仕事が見つかるか不安 ・ 車の運転ができなくなったら買い物に困りそう。両方（主人と私）の親が高齢のため介護が必要になりそうなので

問29 あなたは、地域のために何かできること、またはしてみたいことはありますか

①あてはまるものに○をしてください

	人数	割合
買い物等の支援	12	6.9%
病院等への送迎	7	4.0%
簡単な家事の手伝い（ゴミ出し等）	27	15.6%
書類の記入や代理申請	14	8.1%
独居の方への声かけ	30	17.3%
きれいな村づくり（ゴミひろい、花壇の整備）	44	25.4%
子どもの見守り（登下校時等）	20	11.6%
集落活動センターでのイベント等への参加	19	11.0%

②その他できること、してみたいことがあればご記入ください

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし ・ ゴミ出し場等、公共の場所の清掃。道路付近のゴミ拾い ・ 技能を取得する講座。60歳からのハローワーク

問30 地域での暮らしをより豊かにするためには、どのようなことが必要だと考えますか
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
支援が必要な人への支援	70	21.2%
地域の人が気軽に交流できる場づくり	40	12.1%
バスなどの公共交通手段の整備	41	12.4%
日常生活に関する身近な相談窓口の整備	27	8.2%
買い物がしやすい環境づくり	50	15.2%
地域の見守り体制の整備	30	9.1%
道路や建物のバリアフリー整備	19	5.8%
自主防災組織等の整備	19	5.8%
公園や緑地などの自然環境の整備	32	9.7%
その他	2	0.6%

問31 高齢者にとって住みやすい地域を作るためには、どのような事が必要だと思います
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
在宅福祉サービスの充実	72	17.8%
介護と医療の連携	76	18.8%
地域での声掛け・見守り活動の実施	48	11.9%
ホームヘルパーなど福祉人材の育成・確保	43	10.6%
身近な相談窓口の整備	24	5.9%
病院など医療関係施設の整備	33	8.1%
バスなどの公共交通手段の整備	40	9.9%
介護予防に関する取り組みの充実	25	6.2%
ボランティアや地域での人材の育成	23	5.7%
虐待を見逃さない見守り体制等、権利擁護事業の充実	18	4.4%
その他	3	0.7%

問32 認知症などで判断能力が低下した方が、人権をはじめとしたさまざまな権利や尊厳を保ち、地域で生活していくには、どのような支援が必要だと思いますか
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
成年後見人制度の利用啓発・利用支援	59	22.7%
地域の見守り活動	67	25.8%
相談体制の充実(生活相談・金銭相談)	57	21.9%
高齢者虐待の防止	20	7.7%
振り込め詐欺や消費者被害の防止	28	10.8%
金銭・財産管理支援	26	10.0%
その他	3	1.2%

問33 障害のある人にとって住みやすい地域を作るためには、どのようなことが必要だと思いますか(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
障害福祉サービスの充実	80	27.2%
働く場の整備	64	21.8%
地域で理解を深める	64	21.8%
身近な相談窓口の整備	29	9.9%
地域での声かけ	33	11.2%
ボランティアや地域での人材の育成	22	7.5%
その他	2	0.7%

問34 子どもが健やかに育つためには、どのようなことが必要だと思いますか
(あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
地域での声かけ・見守り活動	66	18.5%
安心して遊べる場所の充実	73	20.5%
子育て世帯に対する支援	64	18.0%
保育所の充実	46	12.9%
子どもと大人が交流できる場づくり	34	9.6%
身近な相談窓口の整備	19	5.3%
ボランティアや地域での人材の育成	22	6.2%
虐待を見逃さない見守り体制等、権利擁護事業の充実	30	8.4%
その他	2	0.6%

問35 生活に困窮している人が自立した生活を送るためには、どのような支援が必要だと思いますか (あてはまるものすべてに○)

	人数	割合
就労支援や就労場所の提供	26	27.7%
相談支援体制の充実	20	21.3%
困窮している世帯を早期に発見する体制整備	21	22.3%
衣食住などの生活に関わるものの物質的な支援	15	16.0%
家計や金銭管理に関する啓発	12	12.8%
その他	0	0%

問36 今後、誰もが安心して暮らせる三原村にするために、ご意見、ご提案などありましたらご自由に記入してください

- ・ 三原村の取り組んでいる、あいさつ運動の強化につきると思います。
簡単なことですが、あいさつする事により、お互いが話し易い環境づくり、またお互いの健康状態もわかるし、あいさつからいろんな話ができ易くなると思います。
SDGsにのっとった活動がみんなできると良いと思います。
- ・ 幡多地域の防災拠点となるよう、けんみん病院の三原移設
- ・ 特になし
- ・ 目配り、気配り、心配りの精進を知る
これが出来なければ、行動に移すこともできない
”気づきはセンス”という言葉がある程なので、全員がこのセンスを持ち合わせている訳ではないと思うが、見て学ぶことは可能。1人1人が変わることが”誰もが安心して暮らせる三原村”への1番の近道ではないでしょうか？箱物や制度も大切だとは思いますが・・・
- ・ 子供が車など気にすることなく遊べる場所があればいいと思う
- ・ 村人口1,500人弱、それぞれの必要なサービスが必要だと思います

- まず、このようなアンケートを行う際、誰か分かってしまうような内容の質問はしないでほしい。
人口が少なくなっているのに、性別、年代、地区だけで分かることもあると思う。
- 三原村は高齢夫婦や独居の高齢者も多く、病院を退院できても自宅に帰れる人は少ない。子や孫も生活拠点が県外の事も多くあり、家族内でのサポート体制が非常に弱いと感じる。
- 民生委員も高齢の方がおり、若い世代だとまだ自分自身の生活も多忙のため担うのが難しい。必ずしもその地域の人だけでなく、役場職員等で分担することはできないか
- 知り合いや友人に三原村で生活してみたいと希望する人もいるが、1人暮らしや夫婦で居住できるアパートのようなものがない。
空き家改修も三原村在住の人から決まってくる事もあり、tryしにくい状況がある。
- 村で星ヶ丘とほうばいしか入れる施設がなく、他にショートステイやグループホーム、ケアハウスなど地域に根ざした施設があれば、年をとっても住みなれた三原村にいたることができるのではないか。
- やまびこカフェで配食サービスができないか。
- 下田公園のような子どもが安心して遊べる大きな公園がほしい。
- 人と人のつながりを強くする事
- 村にはもっと社協の大事さを伝えていかなければならないと思います。
自分達の老後が豊かに幸福に暮らせる様に皆で協力していきたいと思います
- 「みんな ちがって みんな いい」人それぞれ、ワクの中からはみでる人を人としてみない。ひとりの人間としてみてほしい
- 発声に不自由のある方や、外国の方への住民サービスに関する意思疎通を円滑にするため、窓口で操作してもらった電子端末の設置と操作方法の講習、案内を検討するのはいかがでしょう。
- 良いものやサービスがあっても、それを発信する力が他市町村と比較して弱すぎると感じるのと、もっとSNS等積極的に利用した方が良いと思われます。
- 高齢者達の遊ぶ所、デイサービスや地域のサロンなど、支援体制に感謝しています。
交通の便が一番不便だと思います。バスでは時間帯の問題があり、なかなか利用できづらいところがあります。
そして、買い物、とくし丸が入ってくれるので、大変便利かと思えます。
じまんやまででも出向いて行くには不便な方がいます。
- 村内にスーパーなど構えてあげると子供もお年寄りも利用しやすい。
子供も勉強になったり、体験などさせたり学べる。
もう少し大きめの公園があれば、他の地域の方も来て楽しめる。
もっと三原内で発展が進めば子供が増えたり買い物になかなか行けないお年寄りの人も生活しやすくなると思う。
- すみずみまで目、手が届く行政であり相手の立場に立った（自分の身に起こった）行動を実施してほしい。身体的に支障があったり、一人暮らし独居老人等への支援の強化がまだまだ足りてないのでは？

【学生向けアンケート結果（中学生・高校生）】

		人数（合計）		割合
中学生	男	13	(18)	72.2%
	女	5		27.8%
高校生	男	9	(16)	56.3%
	女	7		43.8%

問1 あなたは、地域福祉に興味・関心はありますか
あてはまるもの1つに○をしてください

	はい	いいえ	分からない	その他
人数	4	11	19	0
割合	11.8%	32.4%	55.9%	0%

問2 地域の良いところ、自慢できるところを教えてください（人、物、環境など）

・自然がいっぱい	・星がきれい
・住民同士の繋がりが強い・深い	・落ち着く・癒される
・人が優しい	・季節の訪れを素肌で感じることができる
・お米・食べ物おいしい	・自然が多いので思うがままに楽しく遊べる
・空気が澄んでいる・おいしい	・歴史ある村
・様々な祭りやイベントがある	・家が遠い分心の距離が近い
・近所の人から自分の子どものように接してくれる	・学校の設備が整っている
・交通量が少なくのんびりできる	・みんな笑顔
・緑に囲まれている	・教育費・医療費があまりかからない
・静か	・地域全体が支え合い、協力して地産地消や地域おこしをしている姿
・川がきれい	

問3 困っていることや不安に思っていることがありますか

<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない ・夜の帰り道が暗くて怖い ・交通面が不便 ・トンネルの電気が切れている ・ゴミが目につく、多いと感じる ・挨拶を無視されるが不快 ・人口減少により、活気がなくなる ・コンビニがない ・店や施設が少ない ・値段が高い ・少子高齢化が進んでいる ・近くのラグビー場に飲酒運転をしている人が来ているのを見るので怖い ・野良猫が多くてフンやのみ、ダニに困っている ・家や倉庫に野良猫が入ってきて、子育てをするので困っている ・近所に猫にエサを与えるだけで、世話をしない人が居るので困っています ・特になし

問4 あなたは、地域活動やボランティア活動など各種支援活動に取り組んだことはありますか

	ある	ない	分からない	その他
人数	28	4	2	0
割合	82.4%	11.8%	5.9%	0%

問5 問4で「ある」と答えた方におたずねします。それはどのような活動ですか
あてはまるものすべてに○をしてください

	地域の清掃活動	高齢者・障害者施設の訪問	地域のお祭り等の行事	その他
人数	25	8	21	1
割合	45.5%	14.5%	38.2%	1.8%

問6 あなたは、今後ボランティア活動をするとしたら、どのような活動に取り組んでみたいですか

あてはまるものすべてに○をしてください

高齢者・高齢者団体への支援、高齢者施設等での活動	6
障害者・障害者団体への支援、障害者施設等での活動	2
子ども・子育て世帯への支援、保育施設等での活動	10
地域のイベント（お祭りや運動会など）の運営、手伝い	25
ボランティア活動はしたくない	3
その他	0

問7 あなたは、近所の大人とどのような付き合いをしていますか

あてはまるもの1つに○をしてください

	よく話をする	たまに話をする	あいさつ程度はする	全く話をしない	その他
人数	3	12	19	0	0
割合	8.8%	35.3%	55.9%	0%	0%

問8 あなたは、地域の中で身の回りのことで困っている人がいる場合、あなたならどのような対応をとると思いますか

あてはまるもの全てに○をしてください

頼まれたら可能な範囲で手助けする	29
自ら積極的に声をかけ、手助けする	1
自分では手伝えないので、家族に知らせる	7
責任が伴うので対応したくない	1
部活動などで対応する時間が作れない	3
手助けする気持ちはない	1
その他	1

問9 あなたは、隣近所で困っている家族があった場合、あなたはどのようなことであれば手助けができると思いますか

あてはまるもの全てに○をしてください。

話し相手	15
買い物の手伝い	4
日ごろからの挨拶	24
ゴミ出し	6
外出の手助け	2
簡単な掃除	5
電球の交換	1
重い家具の移動	6
特にない	4
その他	2

問10 あなたは、今住んでいる地域がどんな人にとってももっと暮らしやすい地域になるためには、どのようなことが必要だと考えますか
あてはまるもの全てに○をしてください

地域の人が気軽に交流できる場づくり	10
災害に備える体制づくり	6
買い物がしやすい環境づくり	26
川や公園など自然環境を整える	11
バスなどの公共交通手段の整備	14
道路や建物のバリアフリー化を進める	10
支援が必要な人（高齢者や障害者、子どもなど）への支援	10
高齢者や子どもへの見守り体制を整える	8
日常の色々な困りごとに関する身近な相談窓口を整備する	7
その他	4

問11 10年後、あなたの住む地域がどうなっていてほしいですか。ご自由にお書きください

- ・ 公共施設やレジャー施設をもっと増やし、若い世代の層を呼べる環境を設け、村の活気をつける
- ・ 暮らしやすい村
- ・ 現状維持
- ・ 不便が今よりも少なくなっている
- ・ 人口が増えて賑やかな村になってほしい
- ・ 地域の人が気軽に交流でき、賑やかな地域
- ・ お店を増やしてほしい
- ・ 村民が増えていて欲しい
- ・ 活気がある村になってほしい
- ・ 居心地がよく安心する地域
- ・ 都市化はしなくていい
- ・ 元気な村でいてほしい
- ・ 障害者が安心・安全に、困っている時はその困っていることにすぐに対応してもらえるような村であってほしい
- ・ 変わらない
- ・ 自然豊かで若者も暮らしやすい活性化
- ・ 村というより町のように若い人々が行きかうような新しい村になってほしい
- ・ コンビニがあってほしい
- ・ ゴミが落ちていない綺麗な村
- ・ 子どもの人数が増えてほしい
- ・ 動物のことをもっと大切に人が増えてほしい
- ・ 住宅が新しくなってほしい。古い住宅は全て壊してほしい
- ・ 家は増えていてほしくない。動物が住みやすい環境が増えてほしい
- ・ どんな人でも仲良くでき、みんなが住みやすくなってほしい
- ・ 近くに遊ぶところがたくさんできてほしい
- ・ 活気があり、どんな立場の人でも過ごしやすい地域
- ・ お互いの交流のある地域
- ・ 若い人がもう少し増えてほしい
- ・ 施設が多くなってほしい
- ・ いろんな世代の人がたくさんいて、子どもが活発な村
- ・ 自然を活かしたアトラクションなどがある村
- ・ より生活のしやすい場となってほしい
- ・ 多くの人が住み、みな笑顔で、1日1日自然を感じている
- ・ 自然を活かした場所、施設があってほしい
- ・ 観光スポットになってほしい

問12 将来、三原村に住みたいですか

住みたい	4
------	---

理由はなぜですか

- ・ 今の家から離れるつもりがないから
- ・ 育った村がすきだから
- ・ 今から（さら）他の市町村には行けない。今の所は問題ないから
- ・ 1日1日を大切に過ごしていく上で、自然を感じたいから

住みたくない	9
--------	---

理由はなぜですか

- ・ 1人暮らしすることで自立するため
- ・ 職場に近い場所に住みたいから
- ・ 都会に住んでみたいから
- ・ 仕事が少ない
- ・ 将来、料理人になりたいから
- ・ 買い物ができる場所がほとんどないから
- ・ また、将来を考え、移動が困難になった時、近くにお店がないとつまらないから
- ・ 都会の方に出ていろんなことを知りたいし、もっといいところがたくさんあるから
- ・ 将来の夢がないので探すため
- ・ 三原より良い環境が現状そこにあるため
- ・ 夢などに沿った事が出来ないため
- ・ 買い物するために、いちいち村外に出ないといけないから

理由はなぜですか

- ・村を守るようなこともしたいが、自分の好きなこともしたいので、どちらを選べば良いか分からない
- ・仕事に就いた時の場所による
- ・20歳の頃は東京などの都会に住みたい。でものちのち例えば結婚して子どもがいなければ30歳くらいになれば三原にもどってきたい。でも子どもがいたら都会にいたい。なぜなら、三原は学校の給食が無料など親にとって助かることはあると思うけど、子ども自身が心から「楽しい」と思えるような公園も遊園地もなく、子どもは都会のほうが楽しいと思うから
- ・三原には仕事が少ないので、自分の興味のある仕事が三原になれば、他の市町村へ通うことになるので、その場合は住みたくありません。しかし、自然があるので、住みたいとは思っています
- ・住みたくないわけとしては、とても不便だし、近くの市などに行くにも時間がかかる。しかし周りに住む人の人がらがよいし、自然もあふれるほどあるため、将来、村を離れるとすると、少しおしい気がする。
- ・都会に出たいと考えているけど、三原村の力になりたいとも思っていてちょっと今は悩んでいます。都会に住みたい理由は、いろいろな三原以外での経験を得たいから
- ・家が好きだから三原に住みたいけど、都会に行かないと夢が叶わないから
- ・都内に住んでみたいから
- ・少子高齢化で子ども達が減ってしまうと保育所や学校が無くなるのは将来子育てに影響するから。反面、自然豊かで自分が育った地域で子育てしたい
- ・田舎だし、店が少ない
- ・仕事はないため、仕事を優先する場合は村外へ出ていかなければ(自分が就きたい方向の)ならないが、住み心地や周りの人との近所付き合いも良好なため、住み続けたいという思いもある
- ・安心できる場所だが、買い物に行くには不便だから。幡多郡内で仕事をしていれば三原村に住むと思う。
- ・静かでもいいが、田舎なので悩んでいる
- ・若者がいなくなることが予想されるから。でも、三原村は落ち着き、居心地がよいので暮らしたいと思う
- ・見当がつかないため
- ・住みやすい環境だけど買い物や遊びなど不便な所がある

【聞き取りアンケート（高齢者）】

性別	男	女	合計
人数	32	102	134
割合	23.9%	76.1%	100%

1.世帯構成

世帯構成	ひとり世帯	夫婦のみの世帯	二世帯世帯	三世帯世帯	その他
人数	43	53	29	7	3
割合	31.9%	39.3%	21.5%	5.2%	2.2%

2.車の免許証

	あり	なし
人数	77	56
割合	57.9%	42.1%

3.食に関すること

1) 買い物

世帯構成	村内	村外	移動販売	その他
人数	69	94	65	3
割合	29.9%	40.7%	28.1%	1.3%

村内

<ul style="list-style-type: none"> ・じまんや ・菊田商店
--

村外

<ul style="list-style-type: none"> ・マルナカ ・コスモス ・くりはら 	<ul style="list-style-type: none"> ・フジグラン ・コメリ ・あるね屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛 ・ぴかいち ・ローソン
---	---	---

移動販売

<ul style="list-style-type: none"> ・とくし丸 ・生協
--

その他

<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をほとんどしない ・ほとんど行かない ・息子、娘が買いに行ってくれる
--

買い物手段

	自動車	バイク	自転車	徒歩	バス	タクシー
人数	74	0	7	14	3	3
割合	37.2%	0%	3.5%	7.0%	1.5%	1.5%

家族（親戚）の送迎	近所又は友人の送迎	手押し車	セニアカー	その他	困っていることや希望すること
74	0	7	14	3	0
37.2%	0%	3.5%	7.0%	1.5%	0%

次の事項について、困っていること、不安に思っていることをお書きください。
 作ること

- ・ 全くしていない
- ・ あまりしなくなった
- ・ 立ってする作業が大変
- ・ どうか困っているけど、するしかない
- ・ 今のところ、出来るいっぱいやっている
- ・ 何するにも身体がしんどい
- ・ 昔は畑で野菜を作っていたが今は作ってないので買い物に行くことからなので大変

後かたづけ他

- ・ 立ってる事がしんどい
- ・ 妻がやってくれて助かる（皿を運ぶ程度）
- ・ もたれてしている、立っているのがしんどい

その他

- ・ 体調をくずした時に一人なので不安
- ・ 膝が痛いので思うように動けない
- ・ 将来的にゴミ出し等の生活面について
- ・ 自分が体調等くずした時の夫の介護
- ・ 1日1食食べたりミンシュア(高カロリー栄養ドリンク)を購入して飲んでいる
- ・ 買いたい時に買いに行けれん困っちゃう
- ・ 夜間のみ少し不安になる事がある
- ・ なんとかできることは頑張っている
- ・ 今のところはなし。今後困ってくる
- ・ 掃除も大変になってきた。布団干し
- ・ 掃除が大変
- ・ 畑仕事ももうちょっとしかようせんかった

4. その他生活面

毎日の生活に満足していますか？

	満足	やや満足	やや不満	不満	その他
人数	42	76	12	2	1
割合	31.6%	57.1%	9%	1.5%	0.8%

下記について、困っていること、不安に思っていることをお書きください

洗濯・掃除

- ・ 今は何とかやっているが足がかなわなくなった時は心配
- ・ ようようしている
- ・ ヘルパーに一部してもらっている
- ・ 1人なのでめったにしない。子どもも仕事があるため、頼みにくい
- ・ 何とかしているが、難しくなっている
- ・ 掃除機はあまり使えなくなった。コロコロで掃除をする。洗濯は何とかできている
- ・ 洗濯→自分 掃除→ヘルパー

ゴミ捨て

- ・手伝ってもらっている
- ・息子がする
- ・今は何とかやっているが足がかなわなくなった時は心配
- ・妻と一緒にしている
- ・ようようしている
- ・自分で何とかゴミ袋の口をくくっているが本当は頼みたい。ゴミ出しは息子が出してくれる
- ・以前はネコ車でついて持って行ってたが、今はためては娘が来た時に頼んでいる
- ・今のところ夫婦でやっているが・・・ゴミ捨てについては場所の問題がある（役場にも何回も言っている）

家の周辺の管理

- ・庭の草、木の管理
- ・手伝ってもらっている
- ・きれいにしたいのでできている
- ・草、木の手入れ（手を使いながら立つのが大変）
- ・雑草処理、植木の剪定
- ・人を雇ってやってもらったり、自分でできる所はしている
- ・災害時のがけ崩れや水害
- ・裏山の雑木林の木が大きくなって大雨で土砂崩れで流されて来ないか少し心配
- ・家族がする
- ・今の所はできている
- ・妻と一緒にしている
- ・最近体力弱くなり困っています
- ・草刈り等できることをしている
- ・自分では出来ないので、皆尾の方に毎年2.3回頼っている
- ・昔ほど思う様に動けないのがつらい
- ・草引きはしている。庭の芝を掃いていて転倒した（坂のため）

その他

- ・車が使えなくなった時。移動手段
- ・妻がいないと在宅での生活が維持できない
- ・家族が留守の時に不安になり「早く帰って来て」と携帯電話に電話をする時がある
- ・全て息子がしてくれる
- ・近くに家族がいるので頼っている
- ・お風呂に入った時に少し不安
- ・今のところ近所の方が助けてくれている
- ・困っていることはなし

5.通院に関すること

1) かかりつけの病院

	診療所	平田（川村・筒井）	けんみん病院	四万十市	宿毛市	その他
人数	32	20	37	42	22	3
割合	20.5%	12.8%	23.7%	26.9%	14.1%	1.9%

その他

- ・風邪等でたまに受診するのみ
- ・かかりつけの病院なし
- ・大阪
- ・愛媛県（耳鼻科）
- ・通院なし

2) 通院手段

	自動車	バイク	自転車	徒歩	バス	タクシー	家族（親戚）の送迎
人数	62	0	2	3	10	4	54
割合	44.9%	0%	1.4%	2.2%	7.2%	2.9%	39.1%

近所又は友人の送迎	手押し車	セニアカー	病院の送迎	その他	困っていることや希望すること
0	0	0	1	2	0
0%	0%	0%	1%	1.4%	0%

その他

・ 高速バス	・ 福祉タクシー
--------	----------

6. 生きがいや趣味に関すること

	あり	なし
人数	114	18
割合	86.4%	13.6%

ある場合は具体的に何ですか？

野菜・米づくり等	59	ひまわりの集会	2
あったか集い	39	友人と会う	2
花の世話	8	釣り	2
読書	6	温泉	1
パッチワーク・手芸	6	漬物をつける	1
体操（3B体操・百歳体操）	6	家事	1
地域の方との会話	5	家族との会話	1
ししとう作業	4	俳句	1
ゴルフ・グランドゴルフ	4	宝くじを当てる	1
テレビ	4	散歩	1
ひ孫のもり・成長	3	習い事	1
友人との会話	3	新聞	1
旅行	3	入所している家族に会いに行く	1
ドライブ	3	日本舞踊	1
絵手紙・手紙	3	音楽	1
ハンカチの仕事	3	生け花	1
デイサービス	2	書道	1
作業（草刈り・薪割り）	2	庭の手入れ	1
動物の世話	2	民謡	1
カラオケ	2	いのしし獺	1
外出	2	ペットボトルで風車作り	1
琴	2	写真撮影	1

7. 自宅生活（住まい）

在宅希望（介護サービスなどを利用せずに、ずっと在宅生活をしたい）	22
在宅希望（介護サービスなどを利用しながら、ずっと在宅生活をしたい）	20
在宅希望（介護サービスなどを利用しながら、出来るだけ在宅生活をしたい）	80
施設入所希望	6
その他	2

その他

<ul style="list-style-type: none"> ・今のところない ・お金がないので施設には入れないと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンピンコロリで逝く予定
---	---

8.サービスの利用について

	あったかの集い	訪問介護	訪問看護	通所介護	配食サービス	訪問診療	その他
人数	95	6	4	7	6	3	15
割合	69.9%	4.4%	2.9%	5.1%	4.4%	2.2%	11.0%

その他

<ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター ・気の毒で利用できない ・2カ月に1回、民生委員さんの訪問がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・娘が来てくれる ・福祉用具レンタル ・ショートステイ
--	---

9.地域に頼れる人がいますか

	いる	いない
人数	120	12
割合	90.9%	9.1%

具体的に誰ですか

・家族・親戚	・集い（サロン・あったか）のメンバー
・近所の方	・グランドゴルフの仲間
・区長さん	・友人
・民生委員	

10.地域の行事等に何らかの形で参加していますか

している	83
------	----

具体的に何の行事ですか？

・祭り	・集い（サロン・あったか）
・集会・部落会・婦人会	・花植え
・草刈り	・ひまわりの会
・防災訓練	・どんな行事もほとんど参加している
・掃除	・十夜講

していない	48
-------	----

理由はなぜですか

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢のため参加していない ・誰かに連れていってもらわないと行けない ・足が痛いので行けない ・酸素吸入をしているため行けない ・家族（夫・息子・嫁）に頼んでいる ・地区に途中から来たので参加するのが嫌 ・耳が聞こえにくくなり参加をやめている

11.その他困っていること、望むことなど

- ・ 1人の移動が大変になってきた
- ・ 三原村で一番道路の整備が遅れているので道路の2車線化を望んでいる
- ・ 気楽に利用できるバス等があれば、家族と気兼ねなく外出したい
- ・ バスの本数が昼にもう1本あればうれしい
- ・ 草、畑の世話を頼める人がいない
- ・ 今は大丈夫だが、いずれ買い物に困ると思う
- ・ 地域ボランティアなどが中心になって買い物や通院などの送迎をする民間タクシーの立ち上げ
- ・ 高齢者の健康維持、増進について、住民課、社協、集活など関係部署が連携した体系的な取り組みを希望（PDCAサイクルを回せるような事業）
三原に来てありがたい。時々薬の飲み忘れがある。集いの放送案内がほしい
- ・ ひ孫の名前が覚えれんけん困っている
- ・ 大月町では1回/月で高齢者に対して器具（フィットネスバイク）やボウリング等一緒に集まってみんなで楽しめる場所があると聞いて、三原村でも道具と少しサポートしてくれる人がいて行ける場所と集まりを作ってほしい。みんなが元気で少しでも楽しんで過ごせるように。人と集まっておしゃべりして笑って過ごせることが長生きにもつながるので。あったかの体操がもっと多く気軽に他の地区の人も来れる場所で集まれたら嬉しい
- ・ 福祉タクシーを通院、村外の買い物で使うしかできないので、もう少し安く使えるようにしてもらえたら嬉しい
- ・ 2人の子どもは高知市在住なのでもし、どちらかグロッキーになったら、どうしよう、などと考え込んでします。まさかの時の行き先を確保しておきたい
- ・ 妻のことが気になっている
- ・ 星ヶ丘公園管理の事。後継者さんが来てほしい
- ・ 役場に言うまでに、区長に伝えるようにしている
- ・ 今のところはないけど、車の運転をやめてセニアカーで移動範囲がせばまって困っている
- ・ 星ヶ丘の施設に予約なしで入れるようにしてもらいたい
- ・ 夜が不安。（何か自分（身体）にあった時を思えば不安）電話がかけられないかもしれないので押しボタンでもあって、消防にでもつながっていればいいのに…
- ・ 家族からの朝夕の声かけが欲しい
- ・ 上長谷、狼内、成山、全体で集合して遊べる日があればいい
- ・ 体がいうこときかず、重たい物がさげれない。高い所の作業が出来ない。時折、村の放送が途切れて聞こえない時がある
- ・ 嫁がいるからないが、1人だといろいろ困ると思う。重たいもの持てない。高い所届かない
- ・ 道が悪い（何かあった場合を考えると救急の時など間に合わない）道路の整備
- ・ 中村、下ノ加江線 道が悪い。何年も言い続けているが、全く改善しないまま！！
- ・ 中央（役場）に行く道が悪い
- ・ 大雨が降った時に自宅が低いので、浸水するので困っている
- ・ 宿毛市に居る息子さんが気になっている。今は仕事をしてなくて、月1回渡川病院に通院している
- ・ 娘がいるので、特にない
- ・ ゴミ捨ての問題が気になっている。何度も役場に言いに行ったが何も変わっていない。どんどん年は取っていくのに役場職員、議員も外に出てみてくればいい！（もっと研修するべき）